

Contents

- 2 会長・CEOからのメッセージ
- 4 ネスレにおける共通価値の創造
- 6 ネスレの責務の概要

8 1/1

栄養

消費者のクオリティ・オブ・ライフの向上につながる ネスレの栄養に関する取り組みをご紹介します。

14



農業・地域開発と責任ある調達

「農業・地域開発の枠組み」を実施しています。

16



水資源

ネスレのウォーター・スチュワードシップへの新たな取り組みと 達成すべき目標をご紹介します。

19



環境サステナビリティ

バリューチェーン全体で、環境により配慮した製品を作ることを 目指しています。

23



人材、人権とコンプライアンス

カカオとヘーゼルナッツのサプライチェーンの行動計画の 実行に着手し、「人権影響評価白書」を発表しました。

- 26 ステークホルダーとの関わり
- 28 重要課題
- 30 責務一覧表

関連報告書



2013年 アニュアルレポート



2013年 年間レビュー

グレース・ワンブイ・ワニェキさん(娘さんと共に撮影)は、24年間ケニアのコーヒー農園で働いてきました。彼女は「ネスカフェプラン」対象のコーヒー協同組合の会員で、ネスレの女性の権利向上プログラムの推進担当農場主となっており、研修に参加し、自身の農場を試験農場として使用しています。

ネスレは、男女平等や女性の教育を推進するために、ケニアの女性コーヒー生産者が、 農業協同組合でよりリーダーシップを発揮できるよう、支援しています。

2013年パフォーマンス概要

ネスレは、「共通価値の創造」、サステナビリティおよびコンプライアンスの評価と報告を重視するパフォーマンス指標を開発しました。このパフォーマンス概要は、国連グローバル・コンパクトの原則に基づいた進捗状況に関する報告書の一部となります。

特に注記のない限り、パフォーマンス指標は2013年12月31日を最終日とした2013年のものです。グローバル・レポーティング・イニシアチブ(GRI)コラムの参考文献は、GRIのG3.1ガイドラインの当該の指標に対応しています。

▶ www.nestle.com/csv/kpis を参照してください。

社会とネスレ、「共通価値の創造」に関する主要パフォーマンス指標	GRI	2012	2013
経営指標			
グループ総売上高(百万スイスフラン) ^(a)	EC1	89721	92158
純利益(百万スイスフラン) ^(a)	EC1	10228	10015
栄養			
「ネスレ栄養基盤」の基準以上の製品(総売上に占める割合%)(b)	FP4	75.7	76.0
栄養または健康面に配慮して改良された製品数 ^(c)	FP7	6692	7789
栄養価値の高い原材料または必須栄養素を強化した製品数 ^(c)	FP7	4691	4778
ナトリウム、糖類、トランス脂肪酸、総脂質、カロリーまたは合成着色料を削減した製品数 [©]	FP6	3 3 1 7	4221
製品試験プログラム「60/40+(シックスティ・フォーティー・プラス)」で分析・改善または確認された製品(売上高、百万スイスフラン)(🖰	PR1	31720	33001
	FP7	6 4 5 5	6836
	PR3	96.8	92.5
	PR3	99.3	99.3
ポーションガイダンス(1食分がわかる工夫や情報を行っている)製品(売上高、100万スイスフラン) [©]	PR3	26 190	26700
	FP4	6367	9562
手の届く価格帯の製品群(売上、百万スイスフラン)	FP4	11 960	11 803
農業・地域開発と責任ある調達			
能力開発プログラムによる研修を受けた農業従事者数		273808	300000
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		46	48
SAINプログラムによって直接調達が実施されているマーケットの割合(%)		100	100
	FP1	89.5	74.0
「ネスレサプライヤー規約」を完全に順守して調達された取引高の割合	FP1	80.0	92.0
水資源			
	EN8	138	152
総取水量(製品1トンあたりm³)	EN8	2.89	2.92
環境サステナビリティ			
生産量			
総生産量(百万トン)		47.7	52.1
原料 FEW (FIRE (TITLE)	EN11	22.5	22.0
原料使用量(百万トン)	EN1	22.5	23.9
包装に使用する原料(百万トン)	EN1	4.77	5.33
包装原料の削減量(達成削減量千トン)		47.1	66.6
エネルギー		00.7	077
総エネルギー消費量(ペタジュール)		90.7	97.7
総エネルギー消費量(製品1トンあたりのギガジュール)	ENIO	1.90	1.87
再生可能エネルギー使用割合(総量に占める割合%)	EN3	12.2	13.3
直接エネルギー総消費量(ペタジュール)	EN3	63.7	67.1
再生可能直接エネルギー使用割合(総量に占める割合%)	EN3	9.3	10.8
間接エネルギー総消費量(ペタジュール)	EN4	73.5	81.5
生物多様性	EN11	42.1	32.9
自然保護地域にある製造施設の合計規模(ヘクタール)	EIVII	42.1	32.9

社会とネスレ、「共通価値の創造」に関する主要パフォーマンス指標	GRI	2012	2013
排出、排水、廃棄			
温室効果ガス直接排出量(百万トンCO ₂ eq)	EN16	3.71	3.99
温室効果ガス直接排出量(製品1トンあたりkg CO₂eq)	EN16	77.7	76.5
温室効果ガス間接排出量(百万トンCO2eq)	EN16	3.39	3.81
	EN16	71.1	73.2
	EN21	84	91
	EN21	1.77	1.74
- 排水の水質平均(COD値 mg/L)	EN21	94	76
	EN22	29.9	29.1
	EN22	6.6	4.9
環境サステナビリティの管理			
ISO 14001認定の製造施設(製造施設全体に占める割合%)		89	91
人権とコンプライアンス			
責任あるマーケティング方針に準拠した12歳未満の子ども向けネスレテレビ広告の割合(%) (h)	PR7	98.0	98.3
WHOの母乳代替品の販売促進に関する国際基準の履行に関するネスレの方針および指示への違反 ⁽¹⁾	PR7	22	27
WHO基準に準拠した教育を受けた、高リスク国の乳児用調製粉乳マーケティングスタッフ(全スタッフに占める割合%) (PR6	100	100
重大な製品リコールまたはコンプライアンス違反の総数	PR2	11	10
私たちの人材			
社員数 ^(a)	LA1	333220	333214
会社全体での新規採用者率(%) ^(k)	LA2	11.8	10.7
		10.3	11.1
		45	146
内訳: 軽度		40	130
		5	16
重度		0	0
休業を伴う負傷・疾患率(百万労働時間あたり)(社員・請負契約者・その他)	LA7	1.9	2.2
報告対象になる総負傷·疾病率(百万労働時間あたり)(社員·請負契約者·その他)	LA7	3.6	4.1
死亡件数(社員・請負契約者・その他)	LA7	5	12
	LA10	10	23
管理職に占める女性の割合(%) ^(k)	LA13	29.2	31.1
途上国の現地法人経営陣に占める現地出身者の割合(%)(m)	EC7	49.5	52.0

(a)2013年連結決算表に記載されている会計 基準変更により、2012年の数値も掲載して いる(注1-会計方針)。

(b)2013年の評価範囲:ネスレの総売上高 の74.9%

(c)世界の製品開発チームの約75%の報告に と同時に他の成分を「増やす」場合もある。 (d)このKPIは、当社の「60/40+」プログラム が活発に実施されていることをよく反映して いる。評価結果は、すべての条件に変化が なければ、最長3年間有効とした。

(e)ペットケア事業、および米国に限っては、 ドライヤーズとライセンスブランド、ハーゲン 詳細な指示がある製品。現状では、これは (j)ネスレではFTSE4Good (フィッチフォー

ダッツとカリフォルニア・ピザキッチンを除く。 (f)EU28カ国にノルウェー、スイス、アドリア 海地域、ウクライナ、モルドバを加えた地 域。(ミルクや砂糖の入らない)コーヒー、紅 茶、水、ネスレプロフェショナル(業務用)の 製品、ギフト用チョコレート、調味料、ペッ 基づく。製品によっては、ある成分を「減らす」 トケア、ネスレ ヘルスサイエンスとネスレ・ ニュートリションを除く。

(g)1サービング単位販売の製品、もしくは、 機器や装置を使用して販売される1食/1杯 分が「ネスレ栄養基盤」に合致もしくはそれ 以上とみなされる製品。もしくは、栄養面で のニーズに応じて1サービング分を調整する ポーションガイダンス(摂取量の指針)に従っ たポートフォリオの一部分である。

(h)この割合は、2011年9月に再定義された 子どもの視聴者が35%以上という厳しい基 準に対するネスレの通年のコンプライアンス 割合を示している。

(i)内部および外部監査に基づく。内部監査は、 本部に拠点を置く監査担当(ネスレグループ 監査)と各国に拠点を置く監査担当(ネスレ マーケット監査)で実施している。2013年は 初めて、国ごとの監査に基づいた報告を行って いる。外部監査はビューロー・ベリタスが実施 したものである。

グッド)母乳代替品販売基準を順守しており、 同基準で「高リスク」国とは、5歳未満の死亡 率が1,000人中11人以上、もしくは5歳未満 の急性栄養失調率が2%超の国である。それ 以外の国は「低リスク」とした。

(k)人事システムに登録されたネスレの社員 が対象(全社員の約85%):2013年を通じた 平均は282,781人。

(1)研修システム、各マーケットからの提出資 料より手集計合算(全社員の約80%に適用) (m)合弁事業を含むネスレの全社員が対象

2013年の主な成果

10

「栄養」、「水資源」、「農業・地域開発」、 [サステナビリティ]および 「コンプイアンス」の分野で 10の新たな取り組みを 開始しました。

7789

栄養または健康面に配慮して、 7,789製品を改良しました。

製品中の食塩・糖類・飽和脂肪酸・ トランス脂肪酸を さらに削減するために、 栄養方針を変更しました。

FTSE4Good (フィッチフォーグッド)

ネスレは、人権や労働者権利、 母乳代替品の責任ある 販売などの実績により、 FTSE4Good (フィッチフォーグッド) 責任投資株価指数に 登録されている唯一の 調整粉乳メーカーです。

1670億

1,670億サービング以上の 微量栄養素強化食を 提供しました。

業界首位

国際NGOオックスファムが 作成した2013年の 「ビハインド・ザ・ブランド |の採点表 で、ナンバーワン企業となりました。 この調査では、食品飲料メーカー 10社が食料安全保障の改善を 目指した取り組みに関して 評価されました。

-33%

製品1トン当たりの直接取水量を 2005年と比較して3分の2に 削減しました。

トップ3

2013年3月、私たちは 「栄養へのアクセス指標」で、 世界トップ3の 食品飲料メーカーに ランクインしました。

30万人

能力開発プログラムで 30万人の農業従事者に 研修を行いました。

ナンバーワン 66594

ネスレは2013年ダウ・ジョーンズ・ サステナビリティ・インデックスで 業界トップとなり、 CDP気候変動パフォーマンス 先進企業として 最高スコアを獲得しました。

2012年は重量で 66,594トンの 包装資材を削減し、 1億5.800万スイスフランを 節減しました。

-7.4%

直接温室効果ガス排出量の 絶対量を2005年と比較して 7.4%削減しました。

会長・CEOからのメッセージ

2013年の「ネスレの共通価値の創造」の報告書は、株主やステークホルダーの皆さまに、私たちの社会との取り組みの全体像と進捗を、透明性を持ってお伝えするための大きな一歩となることを確信しております。本報告書は、企業が長期的に成功し、株主の皆さまに価値を創出するためには、社会にとっての価値をも創出すべきだという私たちの基本的信念を明確に示すものです。まず、その基礎となるのは、ネスレが人々の栄養・健康・ウエルネスの改善を促進できるような製品やサービスを提供し、株主のために優れた長期的な価値を創造することです。

アンリ・ネスレは、子どもの命を救った乳児用食品の製品化に成功、1866年にネスレを設立しました。今日では、よりおいしく健康的な食品飲料だけでなく、お客さまがあらゆるライフステージで正しい選択ができるよう支援するための情報やサービスを提供し、私たちのすべてのお客さまのクオリティ・オブ・ライフを向上させることを目指しています。研究開発センターをはじめ、ネスレ・インスティテュート・オブ・ヘルスサイエンス、ネスレヘルスサイエンス事業のネットワークを通じて、私たちはお客さまの未来の健康とウエルネスのために投資しています。私たちは、良質な栄養が、個人と社会の健康とウエルネスにこれまでになく重要な役割を果たすと考えています。

株主に優れた価値を生み出し、人々の栄養・健康・ウエルネスを 改善できる事業を構築するために、ネスレでは事業の手法として 「共通価値の創造」を選択しました。私たちは栄養に加えて 水資源にも注目しています。これは、世界の多くの地域で水 不足は非常に深刻な問題であり、食料安全保障において水資源 は要でもあるからです。そして、農業・地域開発にも焦点を置いて います。これは、農業従事者・地域のコミュニティ・小規模事業・ サプライヤーの全般的な健全性が、私たちの事業の長期的な 成功に欠かせないためです。

私たちの工場の運営と、事業を行う地域や国の継続的な成長と発展に必要な環境や社会的サステナビリティのための積極的な取り組みを続けています。本報告書でも、ネスレは企業サステナビリティをけん引していく上で重要な体制の一つ、国連グローバル・コンパクトLEADの提唱メンバーとして国連グロー



経営者の活動例

ネスレ取締役会が南アフリカを訪れた際に、ソウェトのツェベディサノ小学校で小学生と交流するネスレのピーター・ブラベック・レッツマット会長。同校は校内菜園でネスレ地域栄養アワードを受賞後、2013年に、「ネスレ ヘルシーキッズプログラム 南アフリカ」を導入しました。



パートナーシップの事例

チリのリベルタドール・ベルナルド・オイギンス州にある、乳児用食品を製造するネスレのサンフェルナンド工場近くの桃農園を訪れたポール・ブルケ。

バル・コンパクトを支持していることを改めてご紹介しています。 私たちがサービスを提供し、事業を行う地域が繁栄し、健康な人々、健全な経済、そして健全な企業業績が長期にわたって相互に好影響を与え合うことができて、はじめてネスレの繁栄につながると常々考えています。これには、ネスレの社内社外を問わない十分な教育と、環境への影響を抑えつつ、多額の技術

66

投資を行うことが必要です。

社会において、私たちは機会を利用するだけでなく、国内法、国際基準に加え、ネスレの「行動規範」、「経営に関する諸原則」、「マネジメント及びリーダーシップの基本原則」に代表される価値観や原則を順守し、事業展開する責任を負う立場にあることを認識しています。私たちのような企業が繁栄するためには、一連の堅実な原則や価値観に沿った長期的視野が必要であり、ネスレはそれらを150年近くかけて築いてきました。これらは、人々の尊重、文化の尊重、環境の尊重、私たちが住む世界の未来の尊重など、尊重に根差したものです。従って、このように単純なコンプライアンスを超えた私たちの取り組みは、常識的な価値観に基づいたものであり、「共通価値の創造」の活動の基盤を構築するものです。

私たちがとるべき戦略的方向性と責任を果たすための基準を明確化するために、昨年、私たちは、全事業分野にわたる、将来を見据えた一連の責務と取り組みを公表することにいたしました。これらの責務は現実的で信頼に足るものであり、私たちは約束の実現のために全力を尽くしてまいります。しかし、その道のりには困難も待ち受けており、これらについても皆さまに公表していきたいと考えております。本報告書では、私たちの取り組みが進歩を遂げている領域と共に、さらなる挑戦が必要な領域をお伝えします。この報告書により、私たちの活動に株主やステークホルダーの皆さまのご理解をいただき、ご指導を願えれば幸いです。私たちは新たな取り組みを多数開始しており、今後皆さまにこれらをご報告いたします。本報告書および私たちの責務や実践に対する皆さまのご意見も、ぜひお寄せください。

ネスレはクオリティ・オブ・ライフと栄養を最重視しており、これこそが企業としてのネスレの存在意義です。

しかし、その重要性は、消費者の皆さま、 社会、私たちの事業のために生み出す 価値にこそあります。つまり、競争優位 性および研究開発を推進し、時代を先 取りし、ブランド価値を構築することに あるのです。

ポール・ブルケ

ピーター・ブラベック-レッツマット 全国 ポール・ブルケ CEO

ネスレにおける共通価値の創造

企業が長期的に成功し、株主の皆さまに価値を創出するためには、社会にとっての価値をも創出すべきであると、私たちは信じています。ネスレでは、株主に対する優れた長期的な価値を創造するためには、人々の栄養・健康・ウエルネスを改善できる製品とサービスを提供すべきであると考えています。アンリ・ネスレは子どもの命を救った乳児用食品の製品化に成功し、1866年にネスレを創業しましたが、今日、私たちは人々のあらゆるライフステージでよりおいしく健康的な食品飲料を提供することで、その生活向上に貢献することを目指しています。

株主に優れた価値を生み出し、人々の栄養・健康・ウエルネスを 改善できる事業を構築するために、ネスレでは事業の手法として 「共通価値の創造」を選択しました。

栄養の他にも、私たちは水資源と農業・地域開発に焦点を当てており、これらは私たちの事業だけでなく、社員、農業従事者、サプライヤーや販売業の方々、そして私たちが事業を展開する地域社会においても非常に重要なものです。

私たちの工場運営のみならず、事業を行う地域や国の持続的な成長と発展に必要な環境・社会・経済的サステナビリティへの積極的な取り組みを、ネスレは継続して行っています。これには、ネスレ社内外の人々を十分に教育し、多額の技術投資を行って環境への影響を抑えることが必要です。

「共通価値の創造」には、国際規格・基準だけでなく、社内の「行動規範」、「経営に関する諸原則」、「マネジメント及びリーダーシップの基本原則」など、厳格な規則に対するコンプライアンスが必要となります。

「共通価値の創造」は私たちが事業を行う手法であり、私たちが 社会一般とつながる方法なのです。



法律、経営に関する

諸原則、行動規範

ネスレの「共通価値の創造」の起源および経緯

コンプライアンス

共通価値の創造

2002年-ネスレは初の一般向け報告書「ネスレサステナビリティレビュー」を発行しました。この報告書では、経済的・社会的・環境的サステナビリティの枠組みを使用しました。

2005年-ネスレは「ネスレのアフリカでの責務」という地域報告書を作成し、原料となる農産物、製造、経営・製品・消費者という3つの観点からバリューチェーンを通じたネスレの事業による影響を報告しました。

2006年「ネスレが中南米で実践する企業の社会的責任の概念」を発行しました。この報告書では、アフリカの報告書で使用されたバリューチェーンの3つの観点をさらに進化させたものを採用しました。

2007年-社内で「栄養」、「水資源」、「農業・地域開発」という「共通価値の創造」の3分野が、投資とコミュニケーションの対象として選ばれました。

2008年-「共通価値の創造」のピラミッドが導入され、「共通価値の創造」がサステナビリティ、コンプライアンス、ネスレの文化や価値と共に一つの図にまとめられました。初の「ネスレ共通価値の創造報告書」(2007年報告書)が発行されました。

2009年-ネスレは「共通価値の創造」の概念と枠組みを発表し、 ニューヨークの国連で開かれた「ネスレ共通価値の創造フォーラム」 で初めて「ネスレ共通価値の創造賞」について一般に公表しました。

2010年-2号目となる「ネスレ共通価値の創造報告書」(2009年)が発行され、「栄養」、「水資源」、「農業・地域開発」という3つの「共通価値の創造」の分野が初めて紹介されました。第2回「ネスレ共通価値の創造フォーラム」がロンドンで開催されました。初回の「ネスレ共通価値の創造賞」はIDEカンボジアに与えられました。

2011年-「ネスレ共通価値の創造報告書2010農業・地域開発」が発行され、第3回「共通価値の創造フォーラム」がワシントンDCで開催されました。報告書はグローバル・レポーティング・イニシアチブ(GRI)のB+レベルの申請事項に従って作成され、ビューロー・ベリタスにより検証されました。

次の報告書はA+レベルで作成することが決定しました。

2012年 「ネスレ共通価値の創造報告書2011要約版:世界の水問題への取り組み」発行。これには栄養と農業・地域開発の概要が含まれていました。詳細版の報告書は、GRIでA+、つまり最高の透明性基準をクリアしました。第4回「共通価値の創造フォーラム」がインドで開催されました。「ネスレ共通価値の創造賞」は、自立した農業学校モデルを設営したフンダシオン・パラグアヤに与えられました。

2013年 「社会とネスレ『共通価値の創造』と2012年私たちの 責務と履行」報告書を発行。栄養に焦点を当て、初めて今後の取り 組みが掲載されました。第5回「共通価値の創造フォーラム」が、 米州開発銀行と共同で、コロンビアで開催されました。フアン・ マヌエル・サントス・コロンビア大統領が開会の辞で、コロンビアの 経済的・社会的発展における民間企業の役割について述べました。

2013年の環境やサステナビリティの主要なランキングや指標の達成状況

栄養へのアクセス指標-2013年3月、ネスレは「栄養へのアクセス 指標」で、世界トップ3の食品飲料メーカーにランクインしました。 この指標は、世界最大級の食品飲料メーカーが、いかに効果的に 消費者に栄養価が高い製品を届けたかを評価するものです。

カーボン・ディスクロージャー・リーダーシップ・インデックス-2013年、ネスレは多国籍企業の中で、二酸化炭素排出量の情報開示と削減の取り組みで首位となりました。私たちは、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト(CEP)の気候変動情報開示先進企業および気候変動パフォーマンス先進企業として、2年連続最高スコアを獲得しました。

カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト・ウォーター-CDP ウォーターは、水資源を守り、世界的な水危機に対応するために、企業の持続可能なウォーター・スチュワードシップを推進するものです。ネスレは、2010年の発足時から毎年、このCDPウォータープログラムに参加しています。

ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスーダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスは、世界的なサステナビリティの先進企業のパフォーマンスを評価するものです。2013年、ネスレは食品メーカーとして初めて、このインデックスの先進企業に選ばれました。

FTSE4Good(フィッチフォーグッド)ーFTSE4Good(フィッチフォーグッド)は、世界的に認められた企業責任基準を満たす企業のパフォーマンスを測定するもので、ネスレはこれに登録されています。

オックスファムの「ビハインド・ザ・ブランド」 - オックスファムの「ビハインド・ザ・ブランド」は、世界の10大食品飲料メーカーのサプライチェーンに関して、説明責任を果たすために必要な情報を一般に提供しており、私たちはこの採点表で最上位にランクインしました。

5

ネスレの責務の概要

2012年には、私たちの長期的な目標である「共通価値の創造」を支援する堅実な取り組みを紹介しました。その内容は、栄養・健康・ウエルネス、農業・地域開発と責任ある調達、水資源、環境サステナビリティ、人材、人権とコンプライアンスなど、多岐にわたります。これらの取り組みを確約することで、ステークホルダーは私たちの責任を認識し、私たちが「栄養」、「水資源」、「農業・地域開発」、「サステナビリティ」、「コンプライアンス」におけるパフォーマンスの継続的な向上を達成するための、後押しとなるのです。

□ より詳細な方針や手法につきましては、詳細版の報告書をご覧ください。 www.nestle.com/csv/downloads



栄養

子どもの栄養摂取や生活習慣に関する深い理解を通じて、子どもの栄養に関する知識のリーダーシップを構築

社内プログラムと最高水準の外部機関との協力を通じて、栄養・健康に関する研究において業界をけん引

子ども向けにデザインされた栄養学的に健全な製品の提供

微量栄養素の強化により、低栄養リスク軽減を 支援

ネスレ製品に含まれる食塩の削減

ネスレ製品に含まれる糖類の削減

製品中の飽和脂肪酸を軽減し、半硬化油由来のトランス脂肪酸を削減

より健康的な家庭料理を通じてなどで、全粒穀物と野菜の摂取を支援

すべてのネスレ製品のラベルに栄養情報とアドバイスを記載

ポーションガイダンス (1食分を知らせるさまざまな工夫) の提供

健康的な食生活、ライフスタイル、運動を推奨

健康的な生活習慣の一部として、健康的な水 分補給の推奨

適切な栄養摂取を促進するために、栄養教育プログラムを実施

□ 詳細は8ページをご覧ください。



農業・地域開発と 責任ある調達

「農業・地域開発の枠組み」の実施

「ネスレ カカオプラン」の実施

「ネスカフェプラン」の実施

責任ある調達の実践

□ 詳細は14ページをご覧ください。



水資源

事業全体における水の利用効率の向上に向け た取り組み

効果的な水資源利用方針とウォーター・スチュ ワードシップの推進

適切な排水処理

サプライヤー、特に農業関連との協力

水の供給と保全に対する意識改善

□ 詳細は16ページをご覧ください。



環境サステナビリティ

資源の利用効率の向上

ネスレ製品パッケージの環境パフォーマンス を改善

製品が環境に与える影響の評価と最適化

環境変化におけるリーダーシップの発揮

森林を含む自然資本の保全

有意義で正確な環境情報の提供と対話

□ 詳細は19ページをご覧ください。



人材、人権と コンプライアンス

事業運営とサプライチェーンにおける人権へ の影響の評価と対応

重点原料(カカオ、ヘーゼルナッツ、バニラ)に おける児童労働の排除

責任ある母乳代替品の販売

ネスレの全部門において、全社員に同水準の 基本的安全性および健康の確保に必要な仕組 みを整備

男女比のバランスを改善

ヨーロッパのネスレで30歳未満の若年層2万人に雇用機会を提供

「共通価値の創造」(CSV)、NQ(栄養指数)、環境サステナビリティに関する研修と教育を社員に実施

□ 詳細は23ページをご覧ください。



4300万

今日、4,300万人を超える子どもたちが肥満である一方で、それを数百万人上回る子どもたちが低栄養となっています。

私たちの取り組み

子どもの栄養摂取や生活習慣に 関する深い理解を通じて、 子どもの栄養に関する知識の リーダーシップを構築

2016年までの目標-アメリカ、メキシコ、中国、フランスを含め、世界10カ国以上で大規模調査プロジェクトを実施

私たちの進捗状況

例えば、乳児および幼児への栄養供給の研究 (FITS)は、アメリカでは2回、それ以外の5カ国でも実施されました。FITSでは、0~4歳の乳幼児の具体的な栄養摂取や食事のパターンを、各国政府が示す食事摂取基準に照らし合わせて検証します。調査により、鉄分などの重要な栄養素や野菜の不足を含め、栄養不足と偏った食習慣が明らかになりました。

私たちの視点

私たちはFITSでの経験を生かし、12歳までの子どもに対象を広げて調査を実施したいと考えています。この年齢は、生涯の健康を決定づける食事や運動習慣を身につける大切な時期です。この知識はネスレの製品やサービスの開発に役立てられますが、これには長期的な努力と投資が必要になることを認識しています。外部の科学の専門家や権威と協力の上、有意義な知識体系を構築し、世界各国の子どもたちの栄養・健康・ウエルネスのために最も優れた形でその成果を生かしたいと考えています。

私たちの取り組み

社内プログラムと最高水準の 外部機関との協力を通じて、 栄養・健康に関する研究において 業界をけん引

2016年までの目標-ネスレ・インスティテュート・オブ・ヘルスサイエンス (NIHS) およびネスレ 臨床開発部門の分子栄養学に関する能力と臨床戦略をさらに発展・融合させ、栄養学的手法を用いた疾病予防と管理のために世界における健康をより的確に定義。

ネスレリサーチセンター (NRC)にて、健全な 加齢、健康的な楽しみ、「初めの1000日」と健 康的な子ども、持続可能な栄養、食品の安全 性と完全性という5つの重要な課題に焦点を 当てた研究を実施

私たちの進捗状況

NIHSは、EUの助成金を2件受けています。1件は欧州研究評議会(European Research Council)から授与された体内時計により調節される代謝に関するもので、もう1件はヒトの代謝機能不全モデル作成に関するものです。NRCとエピジェンコンソーシアム(世界有数のエピジェネティクス研究者の国際的協力体制)の提携が、2013年に延長されました。ここでは、子どもが将来良好な代謝機能を得るために、妊娠中の母体と胎児に最適な栄養を理解し、実証することを目指しています。

私たちの視点

私たちの目標は栄養と健康の研究でリーダーシップを発揮することですが、究極の挑戦は複雑な謎を解明し、公衆衛生に役立つ成果を生み出し、学びを製品・サービス・情報提供に生かして消費者の健康に貢献することです。



栄養強化の事例

写真で紹介しているスリランカ以外に、インド、パキスタン、カリブ海地域、中央アメリカ、中央・西アフリカ諸国および太平洋諸島に焦点を当てて、鉄の強化プログラムを実施しています。

微量栄養素の強化と健康

2013年6月、ネスレ・インスティテュート・オブ・ヘルスサイエンスはサンパウロ大学(ブラジル)の医学部付属病院と提携し、子どもの健康に対する微量栄養素の影響に関する2年間の研究のうち前半を終了しました。この研究はブラジルのリベイラオ・プレトの3つの学校で、9~13歳の136名の生徒を対象に行われました。このうち40%が過体重や肥満です。各生徒に5種類のミネラルと12種類のビタミンを配合したNestrovitというネスレ製品を週5日間、6週間摂取してもらい、介入前後で通常の食生活と生理的反応を評価しました。その結果を現在解析中です。

(i) 私たちはすべての目標を、明記した年の12月 31日までに達成することを目指しています。

1670億

2013年には、1,670億サービング以上の 微量栄養素強化食を提供しました。

私たちの取り組み

子ども向けにデザインされた 栄養学的に健全な製品の提供¹

2014年までの目標-子ども向け製品1の100%が子ども用の「ネスレ栄養基盤」のすべての基準2を順守

私たちの進捗状況

2013年末までに、世界保健機構やアメリカ医学研究所などの国際的な機関の公衆衛生推奨事項に基づく子ども用の「ネスレ栄養基盤」のすべての基準2を、ネスレ製品の96%が順守しました(2012年は89%)。

私たちの視点

ネスレは、法的要求事項、栄養上の優先課題、 伝統的な調理法、変化する消費者の嗜好など が異なる、世界のさまざまな国で製品を製造・ 販売しています。さらに、栄養科学と公衆衛生 の知識は進化し続けるため、私たちのプロファイ リングシステムとデータベースは常に見直し が必要です。2013年、私たちは著名な栄養学 専門家のグループにネスレの栄養基準の確認 を依頼しました。私たちが現在直面している もう一つの重要な課題は、一つのITシステムで 世界各国の全レシピと常に進行中の変更内容 を正確に把握することです。現在これに取り 組んでいますが、毎日12億のネスレ製品が販売 されている中、この作業は容易ではありません。



フィリピンにおける 微量栄養素不足の改善

2013年、フィリピン国立食品栄養研究所 (FNRI)と共同で行った研究で、微量栄養素不足は重大な健康上の問題をもたらし、公的な医療体制と社会一般に高額な経済負担をもたらす可能性があることが確認されました。同国で微量栄養素不足への対応の重要性を伝えるために、ネスレフィリピンではFNRIと提携し、鉄分・亜鉛・ビタミンAを強化した牛乳を子どもに毎日与えるよう、親たちに推奨する全国規模のマルチセクターキャンペーンを実施しました。栄養強化した牛乳は、鉄分不足の改善に有効であることが実証されています。



私たちの取り組み

微量栄養素の強化により、 低栄養リスク軽減を支援

2016年までの目標-世界各国で、年間2,000 億サービングの、特に子どもや出産年齢の 女性を対象とした微量栄養素強化食品飲料を 堤供

2015年までの目標-直接強化を補うものとして主要な市場でバイオフォーティフィケーション(生物学的な微量栄養素強化)製品を発売

私たちの進捗状況

家庭で調理する際に使用する製品、乳製品、子ども向けの粉末状飲料やシリアルなどを含め、2013年にネスレは、1,670億サービング以上の栄養価値の高い微量栄養素強化食品や飲料を提供しました(2012年は1,500億サービング)。2013年、バイオフォーティフィケーションを導入した6製品(米・小麦・トウモロコシ・サツマイモ・キャッサバイモ・キビ)をネスレの研究開発センターで開発しました(2012年は8種)。

私たちの視点

鉄・ビタミンA・ヨウ素・亜鉛などの微量栄養素は、成長と発育のために欠かせません。しかし、世界人口の3分の1以上において食事からの摂取量が不足しています。これが、個人レベルでは深刻な健康上の問題を、途上国では膨大な生産性損失や医療費負担を引き起こしているのです。ネスレは、安価で栄養価の高い食品飲料の栄養強化を通じて微量栄養素不足に対応し、その効果を科学的研究で計測することに尽力しています。しかし、世界における微量栄養素不足は膨大で、それに対してネスレができることはわずかなものです。そこで、私たちは、政府・非政府組織(NGO)・その他の関連するパートナーと協力し、消費者の栄養・健康状態の改善に臨んでいます。

- 1 50%以上の顧客が12歳未満か、この年齢層を対象にしている、あるいはそう捉えられる製品
- 2 「ネスレ栄養基盤」の基準は、栄養科学、および世界保健機構やその他の世界的もしくは現地の公的機関が発行する一般的な健康のための栄養推奨摂取量に基づいています。 ネスレ製品は、「ネスレ栄養プロファイリングシステム」を使用して、その栄養価と「ネスレ栄養基盤」の基準適合性を調べ、上記の基準に照らして評価を行っています。



WHOの 食塩目標摂取量

ネスレの研究開発チームでは、すべての塩 味系の食品ブランドの食塩削減を推進して います。

私たちの取り組み

ネスレ製品に含まれる 食塩の削減

2014年までの目標-子ども用製品1の100%が「ネスレ栄養基盤」のナトリウム基準2を順守

2016年までの目標-「ネスレ栄養基盤」の基準2 を満たしていない製品についても、さらに 10%食塩含有量を削減

私たちの進捗状況

私たちはWHOの食塩目標摂取量3を達成できるよう、塩味系のすべての食品で食塩削減を推進することを2013年11月に宣言。2012年には2005年と比較してネスレの調理用製品と朝食用シリアルに含まれる食塩を14,043トン削減し、調理用製品では2011年と比較して食塩を3.3%(体積)削減。2013年、子ども用製品1の96%が「ネスレ栄養基盤」のナトリウム基準2を順守しました(2012年は90%)。

私たちの視点

ナトリウムは必須ミネラルなので、食事から摂 取することが望ましいといえます。少量の食塩 を自然に含む食品もありますが、世界的に現 在の食事におけるナトリウムの大半は、製造・ 調理・卓上で加えられる食塩に由来しています。 調味料以外にも、塩は食品の保存や食感に重 要な役割を果たしています。私たちの課題は、 消費者が自分で塩を足したり、より食塩の高 い他の製品を選んだりすることを避けつつ、 ネスレ製品の食塩含有量を減らすことです。 徐々に食塩を減らす私たちの試みは、消費者 の味の好みを順応させ、長期的により健康的 な食生活に変えていくことを促すものです。 私たちは[60/40+]プログラムを通じて常に 製品を評価し、味の好みとより適切な栄養摂取 のバランスが取れるよう、努めています。 60%以上の方が競合品よりもネスレ製品の 味を好んでいただくことを目標に、製品の消費 者テストを行っています。

私たちの取り組み

ネスレ製品に含まれる 糖類の削減

2015年までの目標-子ども用!または10代向け4の朝食用シリアルブランドでサービングごとの糖類含有量を9g以下に削減

2016年までの目標-「ネスレ栄養基盤」の基準2を満たしていない製品についても、さらに10%糖類を削減

私たちの進捗状況

2013年末までに、子ども用製品1の96%が「ネスレ栄養基盤」の糖類の基準2を順守しました(2012年は90%)。

私たちの視点

糖類とは、果物・牛乳・蜂蜜や一部の野菜に自然 に生成される甘味物質です。これ以外の主な 食品からの摂取源としては、加工された食品 飲料や、家庭での調理や卓上で加えられる砂糖 があります。甘味の他にも、糖類は、食品飲料 に食感・物性・色・保存性をもたらします。公的 な保健機関は糖類の過剰摂取を控えるように 推奨しています。これは現在、世界の多くの国 の食生活において、糖類摂取量が高まり、代わり に重要な栄養価値の高い食品や食材の摂取 量が減少しているためです。食塩同様、糖類を 徐々に減らす私たちの取り組みは、消費者の 味の好みを順応させ、食卓で砂糖を加えたり、 より糖分の多い競合品に走らせたりすること なく、長期的により健康的な食生活に変えら れるよう、促すものです。ただし、糖類削減の 取り組みには明確な制限がある場合があり、 例えばコンデンスミルクなどは、必要な成分 が法的に定められています。このような製品 に関しては、栄養表示および消費者に消費量 の目安を表示する改善を行っています。



ネスレの活動

中央および西アフリカで、ネスレは栄養情報と 健康的な食事の摂り方を、何百万人もの消費 者に路上で伝えてきました。

マギー「クッキングキャラバン」はカメルーン、コートジボワール、ナイジェリアを巡り、対話型の料理デモ、微量栄養素強化に関する女性のフォーラム、グループ討論、発表を通じて、バランスのとれた食事、微量栄養素不足、食品衛生の重要性についての情報を提供してきました。



健康的な食事の事例

ポーランドで「イート・テイスティ・アンド・ヘルシー」 という全国規模の教育プログラムを通じて、 10代の子どもたちにバランスのとれた食事の 作り方を教えています。

- 1 50%以上の顧客が12歳未満か、この年齢層を対象にしている、あるいはそう捉えられる製品
- 2 「ネスレ栄養基盤」の基準は、栄養科学、および世界保健機構やその他の世界的もしくは現地の公的機関が発行する一般的な健康のための栄養推奨摂取量に基づいています。 ネスレ製品は、「ネスレ栄養プロファイリングシステム」を使用
- して、その栄養価と「ネスレ栄養基盤」の基準適合性を調べ、上記の基準に照らして評価を行っています。
- 3 2025年までに、食塩は1人1日5g以下の摂取に抑える。
- 4 顧客の50%以上が18歳未満であり、かつその内訳として 10代が子どもよりも多い製品

私たちの取り組み

製品中の飽和脂肪酸を軽減し、 半硬化油由来の トランス脂肪酸を削減

2014年までの目標-子ども用製品1の100%が「ネスレ栄養基盤」の飽和脂肪酸基準2を順守

2016年までの目標「ネスレ栄養基盤」の基準2 を満たしていない製品についても、さらに 10%飽和脂肪酸を削減、および半硬化油 (PHO)由来のトランス脂肪酸を削除

私たちの進捗状況

飽和脂肪酸に関するネスレ方針の設置後、数々の製品、特に子ども向け製品1の飽和脂肪酸が大幅に削減されました。

2013年末までに、子ども用製品1の96%が「ネスレ栄養基盤」の飽和脂肪酸基準2を順守しました(2012年は90%)。トランス脂肪酸については、2013年末までにほぼすべての食品飲料製品がネスレ方針を順守しました。2014年には、半硬化油由来のトランス脂肪酸をすべてネスレの食品飲料から排除するという方針に変更し、継続的な改善への取り組みをさらに強化しています。

私たちの視点

食事に含まれる脂肪は、健康的なバランスのとれた食生活の一部です。しかし、公的保健機関は飽和脂肪酸の摂取を控えることを推奨しています。これは、人口規模においては現在の摂取量が循環器疾患など、特定の非伝染性疾病のリスク要因となるためです。ある種の製品においては、安全性・食感・見た目・味を損なわずに飽和脂肪酸を減らすことは、私たちの食品科学担当者にとって重大な技術的挑戦となります。トランス脂肪酸は、牛乳や肉製品に自然に含まれているものです。

しかし、人間の食生活におけるトランス脂肪酸の大部分は、パン類、チップス類、フライドポテト、ピザや塩味系のスナックなど、半硬化油を含む食品に含まれています。私たちは、すべての半硬化油由来のトランス脂肪酸を減らす新たな目標を設定しました。

スープ、スナック、ピザ、レトルト食品といった子どもや家族で食べる製品のトランス脂肪酸削減に優先的に取り組みます。

私たちの取り組み

より健康的な家庭料理を 通じてなどで、全粒穀物と野菜の 摂取を支援

2015年までの目標-子ども用1または10代向け4の朝食用シリアルの1サービングで、他のどの材料よりも全粒穀物の割合を高くする

2015年までの目標-30カ国でマギー料理教室を実施

2015年までの目標-世界で販売されているマギー製品の90%が家庭での調理と野菜を含む食事を奨励

私たちの進捗状況

2013年末までに、マギー料理教室を16カ国で 実施し(2012年は8カ国)、バランスのとれた 家庭料理や健康的な食事の構成の教育を 行ってきました。現在では、マギー製品の68% が家庭での調理と野菜を含む食事を奨励して います。

子ども用1または10代向け4の朝食用シリアルのうち、74%以上のサービングで他のどの材料よりも全粒穀物の割合を高くしました(2012年は、パッケージに緑のバナーが付いた朝食用シリアルには、1サービングごとに8g以上の全粒穀物を含有)。

私たちの視点

全粒穀物や野菜は、食物繊維、ビタミン、ミネ ラルなど、体に良い栄養素の重要な摂取源で すが、世界各地での摂取量調査により、現在 の食生活にはこれらが十分に含まれていない ことがわかっています。私たちは、この状況を 改善したいと考えています。しかし、全粒穀物 の製品配合率を増やすには多くの技術的な 問題があり、見た目や食感に影響を及ぼすだけ でなく、時に苦みが増したり、賞味期限が短く なったり、穀物の扱いが複雑になるために工場 での生産性が落ちたりします。これらの障害 を克服するために、さまざまなイノベーション や改善プログラムを実施しています。野菜の 摂取量を増やすということは、野菜に含まれる 水分や、色・食感・ビタミン含有量を維持する ことを考えると、多くの課題があります。製品 の製法改善と同時に、家庭での食事で生野菜 を調理する簡単でおいしい食べ方を推奨する ことにも注力しています。

私たちの取り組み

すべてのネスレ製品のラベルに 栄養情報とアドバイスを記載

2016年までの目標-世界で対象となる5全食品飲料のパッケージ前面に1日のカロリーガイド表示(GDA)を導入

2016年までの目標-規制で認められれば、子ども用1のすべての製品に子ども用の基準値に基づいたGDA表示を導入

2016年までの目標-パッケージのスマートフォン向けクイックレスポンス(QR)コードを通して詳細な製品情報と栄養に関する助言を提供

私たちの進捗状況

2013年末までに、対象製品の53.5%にGDA表示を導入し、さらに規制で認められる国では子ども用の基準値使用のための準備を開始しました。2013年、マーケティング部門がQRコードで消費者に栄養情報を提供するためのガイドラインを作成しました。これを36カ国で13ブランド、160を超える製品ラインで実施しました。

私たちの視点

GDAに基づく表示により、消費者は食品飲料のサービングごとのカロリー、糖類、脂肪やその他の栄養素、また重要な点として、1日の推奨摂取量に占める割合を知ることができます。パッケージの最も効果的な栄養表示の方法について世界で検討を続けていますが、GDAに基づく表示が規制のために導入できない国もあります。私たちは消費者が情報を得た上で製品を選ぶ権利があると信じており、保護者を支援するために子ども向け¹製品にGDAに基づく表示を導入し、保護者からのご意見をもとに継続的な改善を図っていきたいと考えています。このためには、栄養の専門家、公的機関、企業との協力や、継続的な消費者教育が必要となります。

表示に関する消費者のニーズをより深く理解することが、今後の優先課題となります。

5 人(ペットは除外)が日常的に多量に摂取する製品で、カロリーがあり、パッケージにGDA表示が可能なスペースがあるもの



私たちの取り組み

ポーションガイダンス (1食分を知らせる さまざまな工夫)の提供

2015年までの目標-子ども向け¹ および家族 向け⁶のすべての製品においてポーションガイダンスを実施

私たちの進捗状況

2013年末までに、126億スイスフランの売上に相当する子ども向け1および家族向け6の製品に、ポーションガイダンスを導入しています。

私たちの視点

5~10年前より消費者の活動量は減少している のに、1食分の消費量は増えています。これが 肥満とそれに関連する疾患の増加につながって います。同時に、栄養価の高い食品を多量に 食べている消費者には、他の病気の併発も よく見られます。私たちの優先課題は、特に 子ども向け1や家族向け6の製品を消費者が 購入・調理・提供・摂取する際に、健康的な分量 を見てすぐわかるようにすることです。この ため、製品の形状、パッケージデザイン、明確な 表示、中にはサービング計量器まで含め、 ポーションガイダンスを製品レベルで開発して います。これは多くの理由で困難な取り組み です。多様な文化圏のさまざまな食品飲料の 健康的な摂取量を決めることは複雑な業務で す。製品やパッケージの改訂には多大な費用や 時間が必要です。さらには栄養表示規制のため に記載されたサービングサイズと実際に推奨 される健康的な1食分の摂取量を消費者が混乱 しないように表示するためには、革新的な解決 策が必要となります。



ネスレリサーチセンター

ネスレリサーチセンターでは、スイス、アメリカ、中国、日本で約600名の人材が働いています。 ネスレの既存製品を改良し、新製品を開発する ために必要な科学知識と研究基盤を持つことを 主な目的としています。ネスレリサーチセンター は、ネスレの研究開発の中核であり、食品の安全 性、栄養、味という3つの重要な分野に焦点を 当てています。



ネスレ臨床開発部門

2012年、ネスレの臨床試験をすべて統括するネスレ臨床開発部門が誕生しました。この施設は、研究開発を全面的に支援し、ネスレの食品が人間の生理・健康・味覚・楽しみをもたらす影響を評価するために、医学的専門知識を提供しています。2013年には、ネスレ臨床開発部門では129件の臨床試験を実施しました。

私たちの取り組み

健康的な食生活、 ライフスタイル、運動を推奨

2015年までの目標-「ネスレ ヘルシーキッズ グローバル プログラム」を80カ国で導入し、国際陸上競技連盟(IAAF)のキッズアスレチックスプログラムを推進

私たちの進捗状況

2013年末までに、280を超える団体と協力し、68カ国で「ヘルシーキッズ プログラム」実施のために積極的な取り組みを行っています(2012年は64カ国)。これらの施策は、子どもたちの栄養と運動の重要性に関する基本的知識を高めるもので、2013年のみで690万人の子どもたちが参加しました。

私たちの視点

私たちは、「ヘルシーキッズプログラム」の効果を測定する新たな方法を生み出す努力を続けており、ベストプラクティスを共有しています。私たちの従来のプログラムも、栄養知識や野菜や果物の消費量を高めるなど、有意義な成果を生みつつありますが、この効果が持続するかどうか見ていく必要があります。今後は、これらのプログラムを各国の学校コミュニティの健康に貢献する、根拠に基づいた影響力のある施策に成長させていきたいと考えています。長期的な成功は、私たちのパートナーシップの質と、参加校で栄養に関する教育と運動を再現できる教育体制にかかっています。

- 1 50%以上の顧客が12歳未満か、この年齢層を対象にしている、あるいはそう捉えられる製品
- 6 消費者の20%以上かつ50%未満が18歳未満の製品

50

人体が適切に機能するためには、 50種類を超える栄養素が必要となります。



栄養教育の事例

2013年、私たちはチリで「ニーニョス・エン・アクシオン」プログラムの新たな試みとして、教師向けの研修と生徒向けの栄養教育を行いました。



私たちの取り組み

健康的な生活習慣の一部として、 健康的な水分補給の推奨

2014年までの目標-世界中の医療専門家、 介護者、両親を対象にした事実に基づく健康的 な水分補給の認識を向上するプログラムの継続

私たちの進捗状況

2013年、私たちはエジプトにおける子どもの水分補給状態の追加調査を完了し、結果に関する科学論文を作成中です。アメリカやトルコなどでも、認識向上のための新しいキャンペーンを実施しました。

私たちの視点

水は健康的な食生活に欠かせないもので、子どもの健康に関わる人間が健康的な水分補給を忘れないことが重要だと、私たちは確信しています。イタリア、アメリカ、イギリス、フランスで、9~11歳の児童それぞれ500名ほどを対象に、ネスレで調査を行いました。その結果、子どもの3分の2が登校時に水分補給が十分でないことがわかりました。

プロジェクトWET(Water Education for Teachers)基金と協力の上、私たちは水分補給の教育モジュールとツールキットを開発。最近ではヨルダンで実施され、中国では既存プログラムの拡大が行われました。

私たちの取り組み

適切な栄養摂取を促進するために、 栄養教育プログラムを実施

医療専門家の継続的な栄養教育と介入プログラムを実施し、低栄養および栄養過多の課題 に対応

私たちの進捗状況

独立した非営利組織で栄養情報を出版する世界 最大の民間組織であるネスレ・ニュートリション・ インスティテュート(NNI)を通じて、私たちは 医療専門家に栄養教育を提供しています。 同組織は200カ国近くで活動しており、その 教育ウェブサイトには21万人を超える医療専門 家が会員登録をしています。

私たちの視点

社会に好影響をもたらすために知識と研究開発能力を活用する責任が私たちにはあります。 NNIでは医療専門家、科学者、栄養学のコミュニティと関係性を構築し、最先端科学に基づく栄養教育、資産、研究を共有しています。3,000件を超える論文を発表してきたこの組織は、さまざまな議題で400件を超えるオンライン会議を開催し、優れた栄養専門家と共に科学ワークショップやサテライトシンポジウムを企画しています。ここでは、母親と乳児の栄養、老年医学、肥満管理などの重要なトピックについて検討しています。



農業・地域開発と 責任ある調達

686000

ネスレに原料を直接納入する農家

私たちの取り組み

「農業・地域開発の枠組み」⁷の実施

2015年までの目標-著しい社会的ニーズを示しているネスレの事業に重要な21カ国で基礎評価を実施

私たちの進捗状況

「農業・地域開発の枠組み」7は2012年12月に発表され、これまで3つの重点地域であるコートジボワール、中国、ベトナムで実施されてきました。これは、各国での事業活動と、コミュニティとの関わり、影響の評価、農業・地域開発プログラムといった現地での優先事項とを調整するために役立っています。

私たちの視点

私たちの食品飲料製品の原料の安全で長期的な供給を確保することは不可欠です。原料の大部分は農村部で栽培・飼育されています。しかし、世界的にこれまでになく多くの人口が都市部に流入し、農民が高齢化しています。そのため、ネスレは今、農業が魅力的な収入と社会的地位向上のチャンスをもたらす事業となり、生計手段として成り立つよう、支援する必要があります。優秀な人材が今後も農業に携わることを促し、スキルを伸ばしたい農業従事者のための研修手段として「農業起業家」モデルを活用したいと考えています。



モロッコでの20年に及ぶ酪農業

ネスレモロッコのエルジャジダにある工場は、現地の酪農家にとって安定した市場となっており、現地調達した牛乳の量は1992年の660万リットルから2012年には8,000万リットルに増加、これが同国の女性と子どもの健康の改善にも役立っています。ネスレモロッコは1997年からザクーラ基金と提携し、工場近くの農村部の58の学校で、2,700名の主に女子生徒の教育を支援しています。



7 これらの農業・地域開発に関するすべての活動を統括するために、「農業・地域開発に関する方針」に基づいた枠組みが作られており、これは農家の成功、農場労働者の人権の尊重、コミュニティの繁栄、連携・協力そして擁護という4つの柱で構成されています。

私たちの取り組み

「ネスレ カカオプラン |の実施

2014年までの目標-「ネスレ カカオプラン」を通じて8万トンのカカオを調達 12の協同組合で児童労働モニタリングと改善申し入れを実施 10の学校を建築

2万5,000人のカカオ栽培者に研修を実施 農業従事者に1万本以上の苗木を配布

2015年までの目標-「ネスレ カカオプラン」を 通じて10万トンのカカオを調達 4年間で40の学校を建設する学校建設プロ グラムの完了

2016年までの目標─「ネスレ カカオプラン」を 通じて12万トンのカカオを調達

私たちの進捗状況

2013年、私たちは「ネスレ カカオプラン」を通じて62,299トンのカカオを購入し、8つの協同組合で児童労働のモニタリングと改善の申し入れを実施、13の学校を建築または修繕し、33,885名のカカオ農業従事者に研修を実施しました(2012年の同データは46,000トン、2つの協同組合、13の学校、27,000名の農業従事者)。

私たちの視点

「ネスレ カカオプラン」は、カカオ農家の生活と農産物の品質の向上を目指し、生産性の低さや児童労働など重要な課題に対処するもので(23ページの私たちの取り組みをご覧ください)、農家が収益性のある農業を行えるようにする、社会的条件を改善する、持続可能な高品質のカカオを調達するという3つの柱で構成されています。農作業の改善と新種栽培の研修を行うことが農家の収益性の改善につながり、学校の建設と児童労働のモニタリングや改善申し入れの仕組みが社会的条件の向上につながります。

私たちは、パートナーとの協力、複数のステークホルダーを巻き込む手法、および透明性が、この長期的な取り組みの成功に欠かせないと考えています。このプランは、コートジボワール、ガーナ、エクアドル、ベネズエラ、メキシコ、インドネシアで実施されています。



ネスレのカカオサプライチェーンにおける児童労働は、私たちの方針に背くものです。 ネスレにとって、児童労働問題への取り組みは最優先課題です。

ネスレ オペレーション部門エグゼクティブ・バイスプレジデント ホセ・ロペス



新たな*ネスカフェ*・センター・オブ・ エクセレンス

需要が供給を大きく上回るフィリピンに、新しいコーヒー研究施設を開設し、コーヒーの生産量と品質向上を目指します。リパ・インテグレイテッド・コーヒーセンターは、現地の農家が私たちのコーヒー栽培に関する知識、スキル、技術を学んだり、ネスレが農場での研修をサポートする総合拠点です。農家は、コーヒーの木の間に他の作物を植えると別の収入源となり、生物の多様性を促進できることを学びます。この施設には、農家がコーヒーを直接販売する場所もあります。3,300名の農家が、ここでネスレに生豆を売ると見込まれています。



持続可能な農業の事例

ケニアをはじめとする世界各地で、私たちは、 収穫量が多く、病気に強いコーヒーの苗木を数 百万本配布し、農家の新しい木への植え替えと 農園の生産性向上を支援しています。

私たちの取り組み

「*ネスカフェ* プラン」 の実施

2015年までの目標-ファーマー・コネクト8から 18万トンのコーヒーを調達、4C(コーヒーコミュニティの共通規約)9を基本とするサステナビリティ基準を100%順守

2020年までの目標-9万トン¹⁰の「ネスレ持続 可能な農業イニシアチブ」¹¹準拠コーヒーの 調達と2億2,000万本のコーヒー苗木の配布

私たちの進捗状況

2013年、私たちは中央アメリカ(計13カ国)で「ネスカフェプラン」を導入し、ファーマー・コネクト®の176,040農家から148,198トンのコーヒーを調達し、コーヒーの苗木2,140万本以上を配布しました(2012年の同データは133,792トン、136,227農家、1,246万本の苗木)。

私たちの視点

世界におけるコーヒーの需要は増え続けており、私たちの事業では責任ある原料調達に焦点を当てています。コーヒー産業の他社と協力して、ネスレは、価格変動、木の老化や病気による収穫量低下、気候変動、代替作物、原料の競争激化など、多くの課題に取り組んでいます。コーヒー農家の大多数が小規模で、1~2~クタールの畑で栽培を行っています。ネスレは、より効率的な販売経路、現地でのトレーニング、苗木の繁殖や配布、200名以上の農学者チームによる技術支援などを提供し、小規模農家がより安定した事業を構築できるよう、支援しています。2013年、私たちは30,039以上の農家を訪問しました。

私たちの取り組み

責任ある調達の実践

2015年までの目標-1万件の責任ある調達の 監査を完了し、70%が完全なコンプライアン スを達成

2015年までの目標-12の主要な原料の40% (量ベース)を追跡可能にする(パーム油、大豆、砂糖、紙、コーヒー、カカオ、乳製品、シーフード、シアバター、バニラ、ヘーゼルナッツ、畜肉、家禽肉、卵)。

私たちの進捗状況

2,507件の責任ある調達の監査を終了(2012年は2,261件)。第一線のサプライヤーの70%が完全なコンプライアンスを達成し、現在12の主要な原料の購入量のうち17%が追跡可能となっています。2013年9月までに、RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)認定の持続可能なパーム油の割合が100%となりました(RSPO認定、グリーンパーム認証を含む)。

私たちの視点

原料の産地や生産方法に関する情報への関心が消費者やその他のステークホルダーの間で高まりつつあり、ネスレのサプライチェーンにおけるトレーサビリティと透明性がこれまでになく重要になってきました。しかし、ネスレのサプライチェーンは地理的にも言語的にも複雑で、改善には時間がかかります。変化を効率的に推進するために、改善の取り組みやその研修資料を現地市場のニーズに合わせて作成する必要があります。実用レベルでは、知識共有と効果測定は継続的に取り組むべき課題です。

- 8 農家から直接調達するプログラムにより、私たちは原料の 現地調達を行いつつ、厳格な調達基準を満たすために技術 的支援を提供し、協力体制を整えています。
- 9 コーヒーコミュニティの共通規約(4C)アソシエーションは さまざまなステークホルダーによって構成されており、会 員はコーヒーのサプライチェーンに関与する生産者、市民 団体や企業など、コーヒー産業に携わる人々です。
- 10 数字は2010年から2020年までの累積です。
- 11 持続可能な農業における主要な環境保全団体による国際的な協会で、環境保護、社会的責任、経済的活力に関する 基準があります。

-33%

2005年と比較した製品1トン当たりの直接取水量の削減率

私たちの取り組み

事業全体における水の利用効率の 向上に向けた取り組み

2015年までの目標-全製品分野で製品1トン当たりの直接取水量を2005年と比較して全体で40%削減

2015年までの目標 水資源と衛生に関して人権 への適切な配慮のための詳細なガイドライン の策定と実践

2016年までの目標-ウォーター・スチュワード シップの取り組みの定義と、5つの重点地域で 導入開始

2016年までの目標-優先順位の高い製造施設で節水プロジェクトを100%実施

2016年までの目標-新たに選定した45件の 製造施設および新規開拓地域におけるウォーター・リソース・レビュー(地域における水資源 の枯渇可能性の調査)を実施

私たちの進捗状況

2013年、私たちは、全製品分野で製品1トン当たりの直接取水量を、2005年と比較して全体で33%削減しました。9地域において新たなウォーター・リソース・レビューを行い、点検済の工場数は世界で126になりました。近年、私たちは、(水に関連する物理的リスクと影響をもとに)さらに改善すべき製造施設と重点分野を特定して優先課題として選定しており、これに対し、貯水池ごとにスチュワードシップの取り組みを実施する予定です。

私たちの視点

近年、ネスレでは、多くの重要課題の中から優先的に、水の利用効率を大幅に向上させてきましたが、これを今後も続けていきたいと考えています。しかし、新たな機会を求める場合には、創造的で時に先駆的手段に加えて、組織の内外に働きかける積極性が必要となります。国内および地域内のウォーター・スチュワードシップの取り組みにネスレ社員が継続的に従事することで、課題を直視し、サプライヤー、パートナー、ステークホルダーと価値を共有する機会の重要性を理解できるのです。

私たちの取り組み

効果的な水資源利用方針と ウォーター・スチュワードシップの 推進

2014年までの目標-2030ウォーター・リソース・グループを官民のパートナーシップを通じて他国に拡張

2014年までの目標-CEOウォーターマンデートー般開示ガイドラインの発行に貢献し、「水と衛生への人権」に関する企業のグッドプラクティスを導入

2014年までの目標-ISO14046のウォーター・フットプリント・原則、条件、ガイドラインの完成に貢献

2014年までの目標-持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)の水・公衆衛生に関する自己評価ツールをネスレの全製造施設で広く導入開始

2014年までの目標-特定の重点施設では、アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップの原則を自己評価の目安として使用

私たちの進捗状況

私たちの姿勢と戦略を打ち出した「ネスレウォーター・スチュワードシップへの取り組み」を発行しました。注目される水資源の方針と施策の実施において継続して強い存在感を示し、新しい共通の解決策を求め、水の利用効率の向上に対する協力を推進します。

私たちの視点

私たちは、すべての利用者が水資源を適切に管理することが絶対に必要であると考えています。水は、基本的人権としても、農業などの数々の活動で必要となる原料としても、前世紀には膨大な量が過剰利用されていました。近い将来、世界人口に十分な水の確保が困難になることには疑いの余地がなく、協力して行動を起こすことが必要となります。私たちは、効果的なウォーター・スチュワードシップを推進することで、水資源の方針に関して先導的役割を担うべき政府を支援したいと考えています。



スペインにおける水の利用効率の向上

スペインのラ・ペニリアにあるネスレの菓子工場では、近隣のピスエニャ川から取水していますが、水の利用効率の向上のために140億スイスフランを投資しました。12カ月足らずで、牛乳蒸発装置と凝縮装置で使用する水量を調節することで、製品1トン当たりオリンピック競泳用プール900個分相当の水を節減できました。3基の新しい冷却塔の設置によりさらに25%の削減が達成でき、従来の冷却装置を現在のアンモニアを利用した中央冷却システムに入れ替えたことで、さらなる節減が見込まれています。





農家、エネルギー関連会社、その他の企業と消費者が現在と同様に 水の利用を続ければ、2025年までに世界の穀物生産において、 約30%もの水が不足すると見込まれています。

会長 ピーター・ブラベック-レッツマット

私たちの取り組み

適切な排水処理

2016年までの目標-全工場で水質と排水に関する新しい「ネスレ環境最小要求事項」を施行

私たちの進捗状況

水質と排水の基準をさらに厳しくしました。 2005年に比べ、製品1トン当たりの排水量が 48.5%削減できました。

私たちの視点

2016年以降、ネスレの工場が排水の水質に関する高い目標を達成できるかどうかは、さらなる挑戦です。最も必要な個所に集中投資できるよう、ネスレの既存の排水処理設備における不十分な点を明らかにする調査を実施しました。

この調査により、改善すべき点や、内部の報告管理体制を強化する必要性が明らかとなりました。また、社員の研修と意識改善を通じて、環境パフォーマンスを継続的に改善できるよう、努めています。できる限り公共の排水処理施設を利用するようにしていますが、これらがなかったり、不十分であったりする土地では自社設備に投資し、現地の法律と内部基準のいずれか厳しいほうに基づき、処理水を環境に戻しています。今年は新規あるいは改良処理設備のために、1,800万スイスフランの経費を計上しました。



コートジボワールの衛生改善

2007年以降、ネスレは、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)、コートジボワール赤十字社と、コートジボワールへの水・下水処理施設の提供と衛生研修実施のために協働しています。この提携の第3段階(2010~2013年)が2013年に終了し、コートジボワールの4地域で105,088名の住民と58,057名の子どもたちが恩恵を受けました。



私たちの取り組み

サプライヤー、特に 農業関連との協力

2015年までの目標 優先地域におけるコーヒー、砂糖、米や穀物のサプライチェーン上流における節水行動計画を策定し、導入

私たちの進捗状況

ネスレは約686,000名の農業従事者と協働 しています。この多くが水の使用量が節減 できる栽培技術や干ばつに強い苗木などの支援 を受けています。

世界規模の「ネスレ持続可能な農業イニシアチブ(SAIN)」を通じて、2013年は10件の水に関するプロジェクトが実施されました。

私たちの視点

水の消費量を削減するための私たちの最大の課題は、ネスレの複雑な農産物のサプライチェーンへの影響に対応することです。ネスレは「持続可能な農業イニシアチブ」プラットフォームを設立した企業の1つであり、これは食品供給網のベストプラクティスに関する知識共有を促進する団体です。現在、ネスレは水と農業に関するワーキンググループの議長を務めており、同グループでは農産物の安全性と出会的地位の改善、汚染物質回収による環境生態系の保護強化など、農業における水資源の適切な利用と保護のための重要な課題を明確にしました。



7億8,300万

2013年には、世界で7億8,300万人が 上水を利用できる環境に ありませんでした¹²。



スリランカにおいて飲用可能な 上水施設を提供

2006年以来、ネスレスリランカは飲用可能な上水施設を助成してきました。私たちの製造施設に近い村から始め、公共の場に無料の水飲み器を15台設置しました。その結果、18,500人以上の生徒や子どもたちが、安全な飲料水を飲めるようになりました。ネスレは学校とも協力し、水の保全やきれいな水と健康との関連について生徒に教えています。子どもたちには、水のアンバサダーとなって、学んだ知識を家族や近所の人と共有するよう、勧めています。



私たちの取り組み

水の供給と保全に対する 意識改善

2015年までの目標-ネスレの全社員が職場で適切な水準の安全な水・衛生施設を利用可能

2016年までの目標-ネスレの製造施設近隣 およびファーマー・コネクトの地域において、 農村部における35万人が水・公衆衛生改善 プロジェクトの恩恵を享受

私たちの進捗状況

現在、ネスレの製造施設近隣で、30万人以上が水・公衆衛生改善プロジェクトの恩恵を受けています。2013年、ネスレは、事業運営において水と衛生に関する人権保護に努めるというWBCSDの宣言に初めて署名した企業の1社となりました。プロジェクトWETというネスレが支援する世界規模の水に関する教育プログラムは、66カ国で数十万人を対象に実施されました。

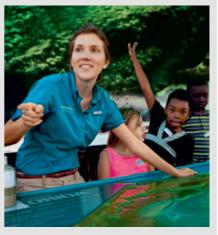
私たちの視点

WHOでは、人は毎日の基本的なニーズを満たし健康上の懸念を避けるためには、1日に50~100 リットルの新鮮な水を必要とすると概算していますが、2013年には約7億8,300万人が上水を利用できない環境にありました12。ネスレの事業が地域コミュニティの水に関する権利を侵害することなく、社員にきれいな水と衛生的な環境を提供しつつ、特定の工場に近い重点地域やネスレが農産物を調達している地域では、上水の提供や衛生状態の改善を支援する必要があります。



プロジェクトWETをアメリカの学校で実施

賞を受賞した、水に関する非営利の教育プログラムであるプロジェクトWETは、アメリカ・フロリダ州で新しいインタラクティブなツアー用トラックで1年間にわたり小学校を訪問しました。このウォーターベンチャーズの学習室は20万人を超える人たちが利用し、フロリダ州の水文地質学や生物多様性に関する楽しい展示も行われました。訓練を受けた先生の指導で、生徒・親・教師は節水について楽しく学ぶことができます。





66594

2013年に削減された 包装資材のトン数

私たちの取り組み

資源の利用効率の向上

2015年までの目標-ネスレ工場の10%で廃棄物量ゼロを達成

2015年までの目標-各製品分野において製品 1トン当たりのエネルギー消費量を2005年と 比較して25%削減

私たちの進捗状況

2013年には、ネスレの61工場(12%)が廃棄物量ゼロを達成しました(2012年は39工場、8%)。つまり、2012年に私たちが設定した目標を、2年早く達成できたことになります。また、製品1トン当たりの全体のエネルギー消費量を2005年と比較して23%削減しました(2012年は21%)。

私たちの視点

「ネスレの持続可能な環境方針」の実現のために導入されている「ネスレ環境マネジメントシステム(NEMS)」は、管理サイクルの継続的改善に基づいています。NEMSの有効性は、「ネスレ・コンティニュアス・エクセレンス」(NCE)が提供する施策の利用にかかっています。これらの実施により、効率・品質・生産性を向上させ、より少ない資源で無駄を減らしつつより多くを生み出すことにつながります。多くの国における私たちの課題は、公的な廃棄物の回収とリサイクルの基盤が整っていないことです。



未来の工場

3,500億ポンドを投じたイギリス・パクストンの新ネスレウォーターズ工場は、ヨーロッパでも有数の革新的で効率的なボトリング施設です。世界を代表する建築物の環境性能の設計と評価法であるBREEAMで「優秀」と評価されており、ミネラルウォーターの生産ラインはエネルギー消費量を大幅に抑え、BuxtonおよびPure Lifeのラインでは包装資材を平均25%削減できました。



私たちの取り組み

ネスレ製品パッケージの環境 パフォーマンスを改善

パッケージの環境パフォーマンスを改善する ツールPIQETから、バリューチェーン全体を網 羅するより広範な包括的アプローチである EcodEX(エコデックス:持続可能な製品開発 と発売のためのエコデザイン)へ移行し、パッ ケージのエコデザインをさらに進化させます。

私たちの進捗状況

2013年には66,594トンの包装資材を削減。 これは1億5,850万スイスフランに相当します (2012年は47,125トン)。

また、5,200件のプロジェクトと15,500件のシナリオを評価しました(2012年は4,000件のプロジェクトと13,000件のシナリオ)。

私たちの視点

製品の包装は食品の劣化を防ぎ、ネスレの品質基準を保証して消費者に情報を提供するために不可欠です。重量と体積を最適化しつつ、設計段階でパフォーマンスと機能性の両方を達成できるよう、努めています。現在、再生可能な資源で作られた資材は価格が高騰し、競争が激しいため、入手が困難なこともあります。加えて、環境パフォーマンスが優れているとは限りません。

再生資材は新資材に比べて環境面の利益が 常に高いわけではありません。例えば、ネスレ の基準を保証するため、重量面でより多くの 資材が必要となることがあります。



私たちの取り組み

製品が環境に与える影響の評価と最適化

2014年までの目標─12製品分野におけるサステナビリティ重点課題を特定し、対応

2014年までの目標-エコデックスのエコデザインツールを全研究開発拠点に適用

私たちの進捗状況

2013年には、12製品分野においてサステナビリティの重点課題を特定して対応し(2012年は8分野)、エコデックスエコデザインツールをすべての製品テクノロジーセンターで導入しました(2012年は4拠点)。全新製品に対して環境サステナビリティ評価を実施しています。

私たちの視点

製品の環境パフォーマンスは、良質なエコデザ インから始まりますが、これは製品開発担当 が、製品のライフサイクルが環境にもたらす 影響を明確に理解しているかどうかによりま す。十分な情報に基づいた判断が行えるよう、 改善を反映できる正確なデータベースが 必要です。すべての主要な製品分野でライフ サイクルアセスメント(LCA)を行い、データを まとめて「サステナビリティ・カテゴリー・プロ ファイル」として社内で共有しました。パートナ ーと協力し、エコデックスという、影響を迅速 に分析する手法を製品設計者に提供するツール を開発しました。これが効果的に利用され、 LCAの結果の理解に慣れるなど、新ユーザー が直面する課題に対応できるよう、段階的に 導入しています。



ポーランドでの圧縮天然ガスを利用した 配送トラック

私たちは、都市部の大気汚染をもたらす温室効果ガスや粒子状物質の排出を削減する方法を模索しています。ポーランドのネスレウォーターズでは、2012年以降、圧縮天然ガス(CNG)を燃料とする配送トラック5台を使用する予備試験を行っています。天然ガスは排気量がはるかに少なく、騒音も少なく、二酸化炭素排出量が抑えられ、従来の液体燃料よりも安全に使用できます。燃料自体はより安価ですが、通常の車よりも維持費が高く、かつポーランドではこの燃料の供給拠点が限られていて、実現可能性が制限されることが、試験中に明らかになっています。試験は継続されており、現在、ネスレウォーターズではCNGのトラックを8台使用しています。



私たちの取り組み

環境変化における リーダーシップの発揮

2014年までの目標-私たちの業務用冷却システムで、自然冷媒の利用を拡大

2014年までの目標 ヨーロッパでは新規のアイスクリーム用大型冷蔵庫はすべて、自然冷媒を使用

2015年までの目標-製品1トン当たりの直接 温室効果ガス(GHG)排出量を2005年と比較 して35%削減し、GHG排出量の絶対量を削減

私たちの進捗状況

製品1トン当たりのGHG排出量を2005年と比較して35.4%削減し、絶対量は7.4%削減できました(2012年は生産量の31%増加に対し、GHG排出量を2005年と比較して14%削減)。つまり、2012年に私たちが設定した目標を、2年早く達成できたことになります。世界の温暖化とオゾン破壊をもたらす可能性の高い産業用冷媒の93%を廃止し(2012年は92%)、アイスクリーム用の新大型冷凍庫18,000台には自然冷媒が使用されています。

私たちの視点

GHG排出のみを考慮することは、水資源など他の環境的側面に有害な影響をもたらす可能性があるため、私たちは気候変動に対して包括的な手法をとっています。ヨーロッパ各地での自然冷媒を使用したアイスクリーム用冷凍庫の配置の拡大には適切な保守ネットワークが必要となりますが、ネスレではヒドロフルオロカーボン(HFC)の排除を進め、これを安全で環境的に持続可能な代替品に入れ替えることに注力しています。私たちはバイオ燃料を気候変動に関する大きな課題と捉えています。バイオ燃料に対する取り組みを通じて、私たちの事業運営では、第一世代の農産物由来の液体バイオ燃料を使用しないために、あらゆる実践可能な方法を取るつもりです。

直接温室効果ガス排出量の絶対量を2005年と比較して7.4%削減しました。



カリフォルニアの風力発電

ネスレウォーターズは、アメリカ・カリフォルニア州カバゾンにあるボトリング施設で、2基の風力発電機を導入しています。風力発電機が施設で必要な電力の約30%を生み出し、2万バレルを超える石油に相当するCO2eqの排出量を抑えています。



メキシコの再生可能エネルギー

ネスレメキシコでは必要な電力の85%を風力でまかなっており、同社のチャパデコルソのCoffee-mate(クリーマー製品)工場では、エネルギー効率を高め、温室効果ガスを減らすプロジェクトに24万スイスフランを投資し、二酸化炭素排出量ゼロのゴールに向けてさらなる一歩を踏み出しました。この工場では太陽電池パネル、熱交換器、ポンプを設置し、生産に使用する水をあらかじめ温めています。

これにより蒸気の利用が減り、123トンの CO_2 eqを削減できました。2011年、このプロジェクトは栄誉ある国連開発計画賞を受賞しました。

私たちの取り組み

森林を含む自然資本の保全

2015年までの目標-12の主要な原料の量の30%を責任ある調達ガイドライン(RSG)に照らして評価。既に準拠しているか、そうでない部分については改善計画を実施中という結果を得ること。

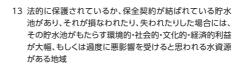
2015年までの目標-水資源の重点地域13近隣のすべての工場で、改善プログラムを導入

私たちの進捗状況

主要な原料の体積の17%で、ガイドラインの条件に沿った責任ある調達が行われています。

私たちの視点

ネスレは、特に生物多様性と生態系サービス など、自然資本を守る方法で事業を発展させ ることに努めています。私たちは、特にパーム油 の分野でトレーサビリティを高める取り組み、 サプライヤーとの直接協力、そして2020年 までに森林破壊を実質上ゼロにするという コンシューマー・グッズ・フォーラムの目標へ の支援を通じて、森林破壊と戦うために積極 的な役割を担ってきました。森林破壊を阻止 する取り組みにあたり、ネスレ製品は森林破 壊資源を使用していないことを約束します。 私たちはパートナーと協力のうえ、森林破壊 が行われている場所に関する信頼できるデータ を取得し、2013年にはこの協力の成果を、32カ 国で森林破壊の分析を行っているコンサベー ション・インターナショナルと共有しました。 2013年は、私たちの工場近隣にある生物多様 性が豊かで重要な水資源地域を特定 し、2014年、これらの重要な生物多様性のある 地域の保護を私たちの事業で支援できるよう 準備していきます。





チリでの天然ガスへの転換

近年のチリにおける乳製品需要の高まりに応えつつ、環境パフォーマンスを改善するために、ネスレでは工場に多額の投資を行っています。工場で使用する燃料を石炭や燃油から天然ガスに切り替えるという大胆かつ革新的なプロジェクトを先駆的に導入し、工場設備の入れ替えに500万スイスフランを既に投資しています。より清浄で効率的なエネルギー利用により、3拠点でGHG排出の30%削減、粒状物質の放出量削減、年間100万スイスフランの経費削減をもたらします。





109

事実に基づく環境情報が 消費者に開示されている国

私たちの取り組み

有意義で正確な環境情報の 提供と対話

2016年までの目標-事実に基づく環境情報をすべての国で消費者に開示

私たちの進捗状況

適切な接点(デジタル、パッケージ、店頭)を利用して、消費者に環境面の改善や課題を伝え、2013年は事実に基づいた環境情報を109カ国で消費者に開示しました。

私たちの視点

バリューチェーン全体で製品の環境パフォー マンスの継続的な改善に取り組んでいます。 私たちは、消費者が十分な知識をもとに製品 を選択できるよう、科学的に裏付けられた証 拠に基づいた製品情報を提供しています。一般 の方に環境サステナビリティという複雑な内 容をわかりやすく説明するために、ネスレでは コミュニケーションのベストプラクティスと 基準の作成を支援、業界や政府と協力して、 「欧州・持続可能な食品の消費・生産に関する ラウンドテーブル]や[フード・ドリンク・ヨーロ ッパ」といったフォーラムを主導しています。 私たちは、「ネスカフェライフサイクルアセス メント]というコミュニケーションツールや 「ネスレ・ビヨンド・ザ・ラベル」といった新しい コミュニケーションツールの使用を通じて、 環境サステナビリティという複雑な内容を わかりやすく説明できるよう、継続して取り組 んでいます。



廃棄物削減の事例

2020年までに、私たちはヨーロッパで廃棄物ゼロを達成することを約束します。つまり、工場廃棄物が埋められたり、その過程でエネルギーを回収することなく焼却されたりすることはないということです。





✓ 人材、人権とコンプライアンス

私たちの取り組み

事業運営とサプライチェーンに おける人権への影響の 評価と対応

2015年までの目標-FTSE4Good (フィッチ フォーグッド)14の該当国で、ネスレが大きく 関与し、重視する国15すべてをカバーし、社員に 研修を実施

2015年までの目標-「ネスレ青任ある調達の ガイドライン」で指定する12の全原料において 人権を尊重

私たちの進捗状況

2013年は、FTSE4Good(フィッチフォーグッド) 該当の9カ国でさらに6,650名の社員に人権 に関する研修を実施しました。2011年に人権 に関するオンライン研修を導入してから、64カ 国で37,768名の社員が研修を受けました。 ネスレは多国籍企業として初めて、人権への 影響評価に関する公的な報告書を発行しました。

私たちの視点

2013年、ネスレは新しい「農業・地域開発の 枠組み」の実施を開始し、これに初めてサプライ チェーンにおける詳細な人権指標が含まれま した。これは難しい分野で、その地域における 真の課題を特定するために、慎重に透明性と 機密性のバランスを取る必要があります。 私たちが直面する課題には、すべての国にお ける事業運営で人権を尊重した手法の導入、 社員の意識改善、ネスレのサプライチェーン のトレーサビリティと管理体制への人権の尊重 の反映などがあります。

私たちの詳細な「人権デュー・デリジェンス・ プログラム」により、既にこれらやその他の人 権上の課題への対応に着手しています。

- 14 FTSE4Good (フィッチフォーグッド)は、ロンドン証券取引所 の株式市場における社会的責任投資の指標です。世界的 に認められた企業責任の基準を満たす企業について、そ のパフォーマンスを客観的に測定するものです。
- 15 重視する国とは、当社が20%以上の株式を持つ現地子会社 か、関連会社に1.000名以上の社員がいるか、1億イギリス ポンド以上の売上高もしくは資産がある国です。



コートジボワールにおける児童労働への対応 国際ココアイニシアティブと協力し、ネスレは コートジボワールの児童労働の具体的なケース の特定と対応の支援を行っています。この体制の もと、意識改善の講習や農園の定期訪問を通じて、 家庭における児童労働の影響を現地のメンバー が確認しています。初期の成果として、この什組 みは危険にさらされている子どもたちの特定に 役立ちました。ある地域では、子どもの70%が カカオに関連する何らかの労働に従事しており、 19%はカカオに関連する危険な労働に従事して いました。



女性の権利向上の事例

ケニアのコーヒー栽培では、女性が3分の2を 超える労働を行っており、私たちは9つの協同 組合と協力し、女性のコーヒー栽培者に主導的 役割を果たすよう推奨しています。

私たちの取り組み

重点原料(力力才、 ヘーゼルナッツ、バニラ)における 児童労働の排除

2015年までの目標-ココア、ヘーゼルナッツ、 バニラの行動計画を完了して児童労働に関 する研修を6万人の農業従事者に行い、60の 学校を建築または修繕し、児童労働モニタリング と改善要請の仕組みを80%の協同組合で導入 (2016年までに100%)

私たちの進捗状況

公正労働協会(FLA)と協力の上、児童労働の リスクが高い原料と国に焦点を当て、活動計画 を実施しています。カカオとヘーゼルナッツの プランは2カ国で進行中です。

私たちの視点

今日、世界で約1億6,800万人の児童が労働 を強いられています。一企業だけでは農業に おける労働基準の問題を解決することはでき ないというのがネスレの見解です。

効果的で長期的な解決策には、産業、政府、 NGOを含む複数のステークホルダーを巻き 込む必要があります。家庭の事情や農業・地域 開発の正当な必要性を尊重しつつ、ネスレの サプライチェーンにおいてすべての児童労働 を予防・排除することが私たちの目標です。 ネスレはFLAの会員であり、2013年にはこの 推奨に応じて、国際ココアイニシアティブ (ICI)と協力し、児童労働の具体的なケース に対処するモニタリングおよび改善要請の 仕組みを導入しました。



✓ 人材、人権とコンプライアンス

333214 ネスレでは121カ国で 333.214人が勤務

私たちの取り組み

責任ある母乳代替品の販売

母乳育児の推進に継続的に取り組んでおり、 母乳代替品の責任ある販売についての進捗を 一般に公表しています。

2014年までの目標-新規に取得したワイス乳児用 調製粉乳事業がFTSE4Good(フィッチフォー グッド) 指標の基準をクリア

私たちの進捗状況

私たちは、母乳代替品(BMS)の販売に厳格 な基準を持つ世界で唯一の指数である FTSE4Good(フィッチフォーグッド)責任投資 株価指数に登録されています。2013年には、 私たちの活動は31カ国で内部監査員の監査を 受け、3カ国でビューロー・ベリタスの監査を受 けました。

これらの助言により、透明性と企業統治の仕組 みを改善し、コンプライアンス体制を強化しま した。

私たちの視点

乳児には母乳が最適であると確信していますが、 育児に関する法律の不備など、母乳育児には まだ数々の障害があります。医療従事者と相談 の上、母親や家族が最適な母乳育児が実施で きないと判断した際には、WHOに認められた 唯一の母乳代替品である乳児用調製粉乳が、 乳児に必須栄養素を提供する重要な役割を 果たします。ネスレは母乳代替品の責任ある 販売に関する厳格な基準を満たし、各国政府が 施行するWHOコードを順守することに尽力 しています。

主要なステークホルダーを継続的に巻き込ん で協力を強化し、責任ある行動を推進し、母乳 代替品の商業化を評価するための受容度と透 明性の高い手法を確立していきます。



フィリピンの人々の安全を守る

ネスレフィリピンは、全事業で、事故や負傷を減ら すために数々の安全優先施策を導入しています。 「ワン・ミニット・トゥ・セイブ・ア・ライフ」では、 業務開始前に安全に留意することをスタッフに促 しています。このキャンペーンは事故を防止する ための質問に焦点を当てており、回答に要する 時間はわずか1分です。これ以外の取り組みとして 「救命規則」があり、生産より安全性を優先するよ う、社員に呼びかけています。重要パフォーマ ンス評価指標が各段階に設けられており、毎日監 視され、毎月丁場長と部門長が確認を行ってい ます。多くの社員が周囲と安全対策について共 有する意思を高めるなど、このキャンペーンは 社員の行動に大きな影響をもたらしました。デ ータにも表れています。



私たちの取り組み

ネスレの全部門において、 全社員に同水準の基本的安全性 および健康の確保に 必要な仕組みを整備

2016年までの目標-すべての事務職および 営業担当に安全と健康管理システムを保証

私たちの進捗状況

2013年、442の工場、130の流通センター、 25の研究開発拠点の安全と健康管理システム が、OHSAS18001の認証を受けました (2012年は418の工場、130の流通センター、 24の研究開発拠点)。

私たちの視点

業務が屋外であっても、事務職であっても、すべ ての国で安全と健康のシステムとその保証を 改善するには、組織全体の長期的な努力が必要 です。現在、営業担当と事務職の社員の安全 と健康に関する取り組みが積極的に行われて いない国では、大きな行動変化が必要なため、 難しい問題もあります。



私たちは、透明性、コンプライアンス、高い企業統治に注力しています。 FTSE4Good (フィッチフォーグッド) 評価プロセスへの参加はその姿勢を表明するものであり、母乳代替品の責任ある販売の手法の継続的改善を可能にするものです。 ネスレ ニュートリション責任者 ルイス・カンタレル

私たちの取り組み

男女比のバランスを改善

2018年までの目標-毎年、女性管理職および 幹部(各国の経営陣および本社における重要 な役職)の割合を高められるよう、私たちの勤 務環境で条件を整備し、男女比のバランスの とれた企業になる

私たちの進捗状況

ネスレは国連女性のエンパワーメント原則に署名しており、男女の管理職への昇進率は同程度となるようにしています。2013年は、管理職の31%が女性で(2012年は29%)、そのうち19%が経営陣でした。

私たちの視点

数世紀にわたり、世界のビジネス界は男性に独占されてきましたが、近年の社会における男女の役割の変化により、すべての階級において男女比のバランスを取ることが必要となってきています。ネスレでは他の多くの食品飲料メーカーと同様、この点の対応が遅れていましたが、異なる考え方がお互いを補完しあい、より優れた意思決定につながることから、事業にとって男女比のバランスを取ることは重要であると考えています。しかし、私たちは人為的な割合の設定には反対で、自然な男女比となるように戦略的なステップを定めることで、適材適所を推進していきます。

私たちの取り組み

ヨーロッパのネスレで 30歳未満の若年層2万人に 雇用機会を提供

2016年までの目標-ネスレはヨーロッパで1万人の若年層および1万人の30歳未満の研修者もしくは実習生を雇用

私たちの進捗状況

ヨーロッパ全土で30歳未満の若年層2万人以上の雇用に関する3カ年計画を発表しました。ヨーロッパのサプライヤーにも若者を対象に社員、実習生、研修生を募集するように呼びかけています。

私たちの視点

苦者の失業はヨーロッパでは大きな問題であり、 4人に1人、約560万人が失業中です。ネスレはヨーロッパで成長しており、次世代を育成する必要があります。優れた人材を惹きつけ、保持することは、徐々に回復する経済において競合優位性を得るために不可欠であり、ネスレは2016年までに数千名の30歳未満の社員、研修生、実習生を募集します。工場のオペレーターから営業アシスタントや管理職まで、あらゆる事業と階層で職を提供します。ヨーロッパでの事業運営全般を定期的にモニタリングし、全市場の目標に対する進捗を把握していきます。

私たちの取り組み

「共通価値の創造」(CSV)、 NQ(栄養指数)、環境サステナビリティ に関する研修と教育を社員に実施

2014年までの目標-ネスレのスイスの国際研修センターの全コース(年間で現在および将来のリーダー約3,000名が受講)、全社員のために設計・提供されるe-ラーニング、試験段階の新しいリーダーシップコースに「共通価値の創造」の組み入れ

2015年までの目標-NQ16トレーニングに関する全社的な目標として、2015年末までにネスレの全社員がe-ラーニングのモジュールを含め、「NQ基礎モジュール」を少なくとも1回受講

2016年までの目標-社員の環境意識に関する 講習を通じて、使命を達成する能力を強化 2016年までに環境意識に関する研修をすべ ての国で実施

私たちの進捗状況

2013年、社員を対象にした環境意識に関する研修と教育の講習は79カ国で開催されました(2012年は52カ国)。2007年のプログラム開始以来、世界で245,650名を超える社員がNQ16トレーニングを完了し、2013年には108,083名が復習を目的とした研修を受けました。

私たちの視点

研修や教育にとって常に課題となるのは、日々 の活動に変化をもたらすことです。この課題 に立ち向かうため、まず私たちは「共通価値の 創造」を経営陣の研修に体系的に組み込むこと から始めました。特に栄養意識に関しては、 NQ16トレーニングプログラムの目的は、 ネスレの全社員が栄養を適切に理解し、業務や 毎日の生活にその学びを応用できるように力 を持たせることであり、「ネスレ環境マネジメン トシステム」は、体系的に社員を巻き込む継続 的な改善の文化を促進し、環境面で持続可能 な事業を行う助けとなるものです。2013年、 「環境サステナビリティのリーダーシップー We make Nestlé Resourceful (ネスレの 資源をより豊かにする) |ワークショップを開催 し、計量や異なる部署が考えを共有できる新 しいツールや手法を提供しています。

¹⁶ ネスレのNQ(栄養指数)トレーニング プログラムは、当社 の社員が最新の科学的証拠に基づき、個人としても、仕事 においても栄養に関する優れた判断が行えるように支援します。

ステークホルダーとの関わり

ステークホルダーとの効果的な対話は、意見や懸念を理解する上でも、責務を果たす上でも、「共通価値の創造」において要となるものです。私たちのステークホルダーを巻き込むプログラムは共通課題への対応を決定し、パフォーマンスの改善を推進し、最終的には協力体制を強化する助けとなるものです。

私たちのアプローチ

国別に重要なステークホルダーの特定を進めていますが、ネスレの世界規模での働きかけとして、「共通価値の創造フォーラム」や定期的なステークホルダー向けの会議を本社が調整しています。これらは共に、重要案件評価を支える関係性強化プロセスの重要な会議です。

「共通価値の創造フォーラム」は、特に栄養、農業・地域開発、水資源などの開発における企業の役割に焦点を当てます。ステークホルダー会議では、環境サステナビリティ、人権、コンプライアンス、責務の履行に加え、「共通価値の創造」の3つの重点分野である栄養、水資源、農村部の生計という、当社特有の課題により焦点を当てています。ステークホルダー会議は、2007年(ジュネーブ)、2008年(ワシントンDC)、2009年(ジュネーブとクアラルンプール)、2011年(ニューデリーとロンドン)、2012年(ナイロビとロンドン)、2013年(ロンドン)で開催されました。

ステークホルダー会議の結果は経営陣に報告され、当社の方針・責務・次年度の活動の立案時に考慮されています。例えば、以前の会議の結果は当社の新しい「農業・地域開発の枠組み」に組み込まれ、公正労働協会(FLA)との提携のきっかけにもなり、現在、私たちは当社のカカオサプライチェーンにおける児童労働の特定・排除に向けて動いています。会議の結果は、重要案件分析の基礎にもなっています(29ページを参照)。

2013年ステークホルダー会議

この会議はロンドンで定期開催となり、2013年3月、3回目が開催されました。私たちの目標は、ステークホルダーの期待と懸念を理解し、以前の会議からの課題を報告し、前例にとらわれない考え方を促進し、現在実施している新たな取り組みの全体を振り返り、「共通価値の創造」やサステナビリティおよび

鍵となる外部ステークホルダーのグループ

ネスレのステークホルダーの世界的なネットワークは非常に 大きなものです。ネスレの事業活動の中で常時関わる方から、ネスレの活動に影響を及ぼす公職にある方まで、さまざ まなステークホルダーが存在します。

以下のグループは、ネスレの継続的な事業成功のために 欠かせない存在です。

- 学会
- 地域社会
- 消費者および一般市民
- 顧客
- 社員
- 政府
- 通商産業団体
- 政府間組織
- 非政府組織
- 報道機関
- 株主および金融界
- サプライヤー(農家・小規模業者を含む)



ステークホルダーとの関わりの事例

「第5回共通価値の創造フォーラム」は2013年10月にコロンビアで 開催され、権威ある専門家が発表を行い、オープンな議論を交わしました。

ステークホルダーの推奨事項:2013年ロンドン会議

ネスレの事業の影響を高めるため、 課題の相互関係をより考慮する	ステークホルダーはネスレに課題間の接点の明確化と活用を求めました。 例えば、カカオ栽培地域の子どもたちが成長不良に悩む事例を挙げ、栄養と農業・地域開発分野は 密接に関連していることが認識されています。栄養と生活賃金(家族を養えない労働者や農業従事者)、 水と人権(すべての人には水や衛生に関する権利がある)も関連しています。
ネスレの重要分野に関して非政府組織、 政府、競合他社を招集	ステークホルダーは、「実現できる環境」を構築するための協力と提携のため、ネスレに影響力と 求心力の発揮を期待しています。また、ステークホルダーは、ネスレだけでは実現できない生活 賃金などの課題について、ネスレが競合他社との協力を強化することを引き続き求めています。
ネスレのリーダーシップの一環として、 より大胆な広報活動	世界最大の食品飲料メーカーとして、ネスレは公的討論に参加し、「共通価値の創造」を企業の運営方法として確立し、バリューチェーン内の協力会社などに影響を与えて同じ目的に向かわせる責任があるとステークホルダーは考えています。
「ネスレの共通価値の創造」の方針、 プログラム、責務が全世界で事業に反映されている様子をより明確に紹介する	「ネスレの共通価値の創造」の活動は、今後もヴェヴェーの本社のみが行っていくものという認識がありました。ステークホルダーは、意思決定、パフォーマンス計測のプロセス、購買契約やその他の経営ツールを通じて、各市場や各事業において「共通価値の創造」がどのように実施され、管理されるのかをより明確にすることを望んでいます。
ネスレの影響範囲に関する取り組みや ネスレの制御範囲に関する取り組みを 策定し、公表する	ステークホルダーはネスレの事業全体を反映した取り組みを求めています。 例えば、工場以外での水資源への取り組み、適応と緩和を含めた気候に関する取り組み、胎児から 高齢者に至るまで生涯を通じた栄養への取り組み、人権への取り組みについてサプライヤーへの 影響力の発揮などがあります。
ネスレのマーケティング力を市民消費者の 教育と啓蒙のために活用する	ネスレの企業広報の場合と同様に、消費者向け広報で、栄養・人権・環境の課題に関する消費者意識を高め、食品廃棄や気候変動といった課題に関して消費者に行動変化を促すべきであると、ステークホルダーは考えています。

コンプライアンスの課題に関する重要な行動の優先順位を定め 変わりつつある企業の役割」でした。 ることです。

このイベントには、非政府組織、政府、学会、国際機関から40名 を超える代表者が参加しました。前回、ステークホルダーから経営 陣の参加の要望があり、ヴェヴェーの本社やイギリスのネスレ 社員だけでなく、当社CEOポール・ブルケも出席しました。参加 したステークホルダーからは数々の推奨事項が提案されました (上記を参照)。

2013年「共通価値の創造フォーラム」

カルタヘナで「第5回共通価値の創造フォーラム」を開催し、 フアン・マヌエル・サントス・コロンビア大統領が開会の辞を述 べました。イベントのテーマは、「共通価値の創造:開発において

ネスレ会長のピーター・ブラベック-レッツマットおよびCEO のポール・ブルケは、中南米や海外の政府、学会、一般市民、 企業からの20名を超える一流の専門家に加わって、持続可能な 開発を加速する方法について議論しました。北南米における栄養 過多および低栄養の問題、水資源・環境・食料安全保障の相互関 係性などについて、話し合われました。

中南米の内外から300名以上が招待され、直接、あるい はインターネット経由で会議に参加、ツイッターのフォロワーは 5,700名に上りました。講演者による発表を一般向けにウェブ 10月28日、ネスレは米州開発銀行と共同で、コロンビアのキャストで中継、これまで3,300回以上の閲覧がありました。

重要課題

重要課題とは何か?

グローバル・レポーティング・イニシアチブ(GRI)によれば、重要課題とは、「組織がそれ自体、そのステークホルダー、および社会一般に対し、経済的・環境的・社会的価値を創造、維持、あるいは低下させる能力に直接的もしくは間接的な影響を及ぼすトピックス」とされています。

端的に言えば、重要案件の評価とは、ネスレの事業とステークホルダーに最も重要な課題を特定することです。私たちの外部のステークホルダーに最大の関心事である経済的・社会的・環境的課題と、ネスレにとってのリスクや機会を提供する課題を照らし合わせます。徹底した重要案件分析の実施は、ステークホルダーが私たちの報告書に望む内容を特定するだけでなく、社内資源をどこに集中させるかを決定する上でも役立ちます。

重要案件の再評価

2006年以来、ネスレはサステナビリティ社と協力して、ネスレとそのステークホルダーにとって最も重要な問題を把握し、優先順位を定めてきました。この過程でステークホルダーと協議し、社内の優先順位をステークホルダーの期待にできるだけ近づけるよう調整することができました。

さらに、彼らのフィードバックにより、私たちの業務を通じて対応 すべき、重要性が高まりつつある新たな社会的課題を特定する ことができました。今年、これらの課題に最も的確に取り組む方法 を理解するために、重複する課題の接点を把握することも始め ました。

2013年、私たちは重要案件評価を更新し、45の重要課題を整理して23のより広範な課題分野にまとめました。ステークホルダーのフィードバックと評価した事業面の影響を考慮して優先順位を付け、これらの課題を次ページの表にまとめました。

今後も毎年、重要案件分析を確認し、共有していきます。来年、GRIのG4ガイドラインに従って重要課題を整理するために、本格的な分析を行い、次回の報告書はこのガイドラインに沿った構成となる予定です。

最新の報告書では、23の広範な課題のリストを2つの分野に 分類します。

ネスレの事業に重要で、ネスレが対応に貢献できる 社会的課題:

- 動物保護
- 気候変動
- 食料と栄養の確保
- 食品の安全性
- 食品廃棄物
- 人権
- 自然資本
- 栄養過多および低栄養
- 農業·地域開発
- ウォーター・スチュワードシップ
- 女性の社会進出と平等

重要な機会とリスクがあり、ネスレが国の法律の順守に とどまらず、グローバルな経営に関する諸原則や行動規範に 基づき対処すべきネスレの課題:

- ビジネスインテグリティ
- コミュニティとの関係性
- 社員の健康と安全
- 労使関係
- 企業統治と透明性
- ●製造
- 包装
- 製品表示
- 製品のマーケティングおよびコミュニケーション
- 社会政策、支援、ロビー活動
- 調達およびトレーサビリティ
- 輸送と流通

2013年ネスレの重要案件の表

ステークホルダーの懸念が増加		●気候変動◆社会政策、支援、ロビー活動	 ビジネスインテグリティ 食料と栄養の確保 食品の安全性 食品廃棄物 人権 栄養過多および低栄養 製品表示 製品のマーケティングおよびコミュニケーション 調達およびトレーサビリティ ウォーター・スチュワードシップ
●動	力物保護	製造自然資本女性の社会進出と平等	 コミュニティとの関係性 労使関係 企業統治と透明性 包装 農業・地域開発
		● 輸送と流通	◆社員の健康と安全

現在ネスレに影響または今後影響の拡大

将来の方向性

- ステークホルダーの関心と事業への影響が共に高まる
- 恒常的なステークホルダーの関心と事業への影響は恒常的
- ステークホルダーの関心が高まる



責務 対策 進捗状況 日標

子どもの栄養摂取や 生活習慣に関する 深い理解を通じて、 子どもの栄養に 関する知識の リーダーシップを構築 大規模な食生活調査を実施 して、不足している重要な栄養 素を特定し、「乳児および幼 児の食事摂取研究」および 「子どもの栄養と健康に関す る研究」や、21万人の科学 専門家のうち70%が母親と 子どもの栄養に関する研究 を行っているネスレ・ニュー トリション・インスティテュート を通じて、妊婦・12歳以下 の乳幼児の食生活と生活習 慣パターンを把握

例えば、乳児および幼児の栄養供給研究 (FITS)は、アメリカでは2回、それ以外の 5カ国でも実施されました。FITSでは、0~4 歳の乳幼児の具体的な栄養摂取や食事の パターンを、各国政府が示す食事摂取基準 に照らし合わせて検証します。調査により、 鉄分などの重要な栄養素や野菜の不足を 含め、栄養不足と偏った食習慣が明らかに なりました。

2016年までの目標-アメリカ、メキシコ、 中国、フランスを含め、世界10カ国以上で 大規模調査プロジェクトを実施

社内プログラムと最高水 準の外部機関との協力 を通じて、栄養・健康に 関する研究において業界 をけん引

ヘルスサイエンスは、ネスレ の完全子会社です。その使命 は、ネスレ・インスティテュート・ オブ・ヘルスサイエンス(NIHS) が生み出す知識を利用して、 慢性疾患を持つ方のための革 新的な栄養上の解決策を開 発することです。ネスレヘルス サイエンスは、高齢者医療、救 急医療と手術、小児医療、脳の 健康、代謝の健康、胃腸の健康 という6つの分野に焦点を当 てています。

2011年に設立されたネスレ NIHSは、EUの助成金を2件受けています。 1件は欧州研究評議会(European Research Council)から授与された体 内時計により調節される代謝に関する もので、もう1件はヒトの代謝機能不全 モデル作成に関するものです。ネスレ リサーチセンター(NRC)とエピジェン コンソーシアム(世界有数のエピジェネ ティクス研究者の国際的協力体制)の提携 が、2013年に延長されました。ここでは、 子どもが将来良好な代謝機能を得るため に、妊娠中の母体と胎児に最適な栄養を 理解し、実証することを目指しています。

2016年までの目標-ネスレ・インスティ テュート・オブ・ヘルスサイエンス(NIHS) およびネスレ臨床開発部門の分子栄養学 に関する能力と臨床戦略をさらに発展・融合 させ、栄養学的手法を用いた疾病予防と管理 のために世界における健康をより的確に定義 ネスレリサーチセンター(NRC)にて、健全 な加齢、健康的な楽しみ、「初めの1000日」 と健康的な子ども、持続可能な栄養、食品 の安全性と完全性という5つの重要な課題 に焦点を当てた研究を実施

私たちはすべての目標を、明記した年の12月 31日までに達成することを目指しています。



責務	対策	進捗状況	目標
子ども向けに デザインされた 栄養学的に健全な 製品の提供 ¹	「ネスレ栄養プロファイリン グシステム」/「ネスレ栄養 基盤」 ² の基準 「ネスレ チルドレンズ・ヘル シー・グロース戦略」	2013年末までに、世界保健機構やアメリカ医学研究所などの国際的な機関の公衆衛生推奨事項に基づく子ども用の「ネスレ栄養基盤」のすべての基準2を、ネスレ製品の96%が順守しました(2012年は89%)。	2014年までの目標 -子ども向け製品1の100%が子ども用の「ネスレ栄養基盤」のすべての基準2を順守
微量栄養素の 強化により、 低栄養リスク軽減を 支援	「ネスレ微量栄養素強化ポリシー」(2000年、2011年更新) 「ネスレ バイオフォーティフィケーションプログラム」: 必須ビタミンとミネラルを生物学的に強化した従来種の穀物を調達することにより、途上国の農村地域での栽培と消費を推進	家庭で調理する際に使用する製品、乳製品、子ども向けの粉末状飲料やシリアルなどを含め、2013年に、ネスレは1,670億サービング以上の栄養価の高い微量栄養素強化食品や飲料を提供しました(2012年は1,500億サービング)。2013年、バイオフォーティフィケーション(生物学的な微量栄養素強化)を導入した6製品(米・小麦・トウモロコシ・サツマイモ・キャッサバイモ・キビ)をネスレの研究開発センターで開発しました(2012年は8種)。	2016年までの目標-世界各国で、年間2,000億サービングの、特に子どもや出産年齢の女性を対象とした微量栄養素強化食品飲料を提供2015年までの目標-直接強化を補うものとして主要な市場でバイオフォーティフィケーション製品を発売
ネスレ製品に 含まれる 食塩の削減	「WHOの推奨に基づく食塩に関するネスレのポリシー」(2005年、2014年更新)	私たちはWHOの食塩目標摂取量3を達成できるよう、塩味系のすべての食品で食塩削減を推進することを2013年11月に宣言。2012年には2005年と比較してネスレの調理用製品と朝食用シリアルに含まれる食塩を14,043トン削減し、調理用製品は2011年と比較して食塩を3.3%(体積)削減。2013年、子ども用製品1の96%が「ネスレ栄養基盤」のナトリウム基準2を順守しました(2012年は90%)。	2014年までの目標-子ども用製品1の100%が「ネスレ栄養基盤」のナトリウム基準2を順守2016年までの目標-「ネスレ栄養基盤」の基準2を満たしていない製品についても、さらに10%で食塩含有量を削減
ネスレ製品に 含まれる 糖類の削減	「WHO推奨事項に基づく糖類に関するネスレのポリシー」(2007年、2014年更新)	2013年末までに、子ども用製品1の96%が「ネスレ栄養基盤」の糖類の基準2を順守しました(2012年は90%)。	2015年までの目標-子ども用1または10代向け4の朝食用シリアルブランドでサービングごとの糖類含有量を9g以下に削減2016年までの目標-「ネスレ栄養基盤」の基準2を満たしていない製品についても、さらに10%糖類を削減

- 1 50%以上の顧客が12歳未満か、この年齢層を対象にして いる、あるいはそう捉えられる製品
- 2 「ネスレ栄養基盤」の基準は、栄養科学、および世界保健機 構やその他の世界的もしくは特定の国の公的機関が発行
- する一般的な健康のための栄養推奨摂取量に基づいてい 3 2025年までに、食塩は1人1日5g以下の摂取に抑える を使用して、その栄養価と「ネスレ栄養基盤」の基準適合性 を調べ、上記の基準に照らして評価を行っています。
- ます。ネスレ製品は、「ネスレ栄養プロファイリングシステム」 4 顧客の50%以上が18歳未満であり、かつその内訳として 10代が子どもよりも多い製品



責務	対策	進捗状況	目標
製品中の 飽和脂肪酸を軽減し、 半硬化油由来の トランス脂肪酸を 削減	「WHO推奨事項に基づく 飽和脂肪酸に関するネスレ のポリシー」(2009年、2014 年更新) 「WHO推奨事項に基づく トランス脂肪酸に関するネ スレのポリシー」(2003年、 2014年更新)	飽和脂肪酸に関するネスレ方針の設置後、数々の製品、特に子ども向け製品」の飽和脂肪酸が大幅に削減されました。2013年末までに、子ども用製品」の96%が「ネスレ栄養基盤」の飽和脂肪酸基準2を順守しました(2012年は90%)。トランス脂肪酸については、2013年末までにほぼすべての食品飲料製品がネスレ方針を順守しました。2014年には、半硬化油由来のトランス脂肪酸をすべて、ネスレの食品飲料から排除するという方針に変更し、継続的な改善への取り組みをさらに強化しています。	2014年までの目標-子ども用製品1の100%が「ネスレ栄養基盤」の飽和脂肪酸基準2を順守2016年までの目標-「ネスレ栄養基盤」の基準2を満たしていない製品についても、さらに10%飽和脂肪酸を削減、および半硬化油(PHO)由来のトランス脂肪酸を削減
より健康的な 家庭料理を通じてなどで、 全粒穀物と野菜の 摂取を支援	朝食用シリアルへの全粒穀物の追加 ネスレが家庭での調理や健康的な食事バランスを教えることで野菜の摂取を推進	2013年末までに、マギー料理教室を16カ国で実施し(2012年は8カ国)、バランスのとれた家庭料理や健康的な食事の構成の教育を行ってきました。現在では、マギー製品の68%が家庭での調理と野菜を含む食事を奨励しています。子ども用 ¹ または10代向け ⁴ の朝食用シリアルのうち、74%以上のサービングで他のどの材料よりも全粒穀物の割合を高くしました(2012年は、パッケージに緑のバナーが付いた朝食用シリアルには1サービングごとに8g以上の全粒穀物を含有)。	2015年までの目標-子ども用1または10代向け4の朝食用シリアルの1サービングで他のどの材料よりも全粒穀物の割合を高くする 2015年までの目標-30カ国でマギー料理教室を実施 2015年までの目標-世界で販売されているマギー製品の90%が家庭での調理と野菜を含む食事を奨励
すべてのネスレ製品の ラベルに栄養情報と アドバイスを記載	「『ニュートリショナルコンパス』の表示に対するネスレの基準」(2005年、2011年更新) 「栄養/1日のカロリーガイド表示(GDA)の表示に対するネスレの基準」(2006年、2013年更新)	2013年末までに、対象製品の53.5%にGDA表示を導入し、さらに規制で認められる国では子ども用の基準値使用のための準備を開始しました。2013年、マーケティング部門がQRコードで消費者に栄養情報を提供するためのガイドラインを作成しました。36カ国で13ブランド、160を超える製品で実施しました。	2016年までの目標-世界で対象となる5全 食品飲料のパッケージ前面に1日のカロリーガイド表示(GDA)を表示 2016年までの目標-規制で認められれば、 子ども用1のすべての製品に子ども用の基準 値に基づいたGDA表示を導入 2016年までの目標-パッケージのスマート フォン向けクイックレスポンス(QR)コード を通して詳細な製品情報と栄養に関する 助言を提供

- 1 50%以上の顧客が12歳未満か、この年齢層を対象にして いる、あるいはそう捉えられる製品
- 2 「ネスレ栄養基盤」の基準は、栄養科学、および世界保健機 構やその他の世界的もしくは特定の国の公的機関が発行
- ます。ネスレ製品は、「ネスレ栄養プロファイリングシステム」 を使用して、その栄養価と「ネスレ栄養基盤」の基準適合性 5 人(ペットは除外)が日常的に多量に摂取する製品で、カロリー を調べ、上記の基準に照らして評価を行っています。
- する一般的な健康のための栄養推奨摂取量に基づいてい 4 顧客の50%以上が18歳未満であり、かつその内訳として 10代が子どもよりも多い製品
 - があり、パッケージにGDA表示が可能なスペースがあるもの



責務	対策	進捗状況	目標
ポーションガイダンス (1食分を知らせる さまざまな工夫)の 提供	「ネスレ・ポーションガイダンス・イニシアチブ」: できるだけ見てすぐわかる適切な摂取量と頻度を記載(2011年開始)	2013年末までに、126億スイスフランの売上に相当する子ども向け ¹ および家族向け ⁶ の製品に、ポーションガイダンスを導入しています。	2015年までの目標 -子ども向け ¹ および家族向け ⁶ のすべての製品においてポーションガイダンスを実施
健康的な食生活、 ライフスタイル、 運動の推奨	「ネスレ ヘルシーキッズプログラム」:国際陸上競技連盟など、適切なステークホルダーと協力して、児童に健康的な食生活と活動的なライフスタイルを指導(2009年開始)	2013年末までに、280を超える団体と協力し、68カ国で「ヘルシーキッズ プログラム」実施のために積極的な取り組みを行っています(2012年は64カ国)。これらの施策は、子どもたちの栄養と運動の重要性に関する基本的知識を高めるもので、2013年のみで690万人の子どもたちが参加しました。	2015年までの目標-「ネスレ ヘルシーキッズ グローバルプログラム」を80カ国で導入し、国際陸上競技連盟(IAAF)のキッズアスレチックスプログラムを推進
健康的な生活習慣の 一部として、 健康的な 水分補給の推奨	特に子どもに焦点を当て、健康における水分補給の重要性に関する医学的証拠を収集し、意識を高める(2010年開始)教師を対象にした水に関する教育(プロジェクトWET)	2013年、私たちはエジプトにおける子どもの水分補給状態の追加調査を完了し、結果に関する科学論文を作成中です。アメリカやトルコなどでも、認識向上のための新しいキャンペーンを実施しました。	2014年までの目標-世界中の医療専門家、介護者、両親を対象にした事実に基づく健康的な水分補給の認識を向上するプログラムの継続
適切な栄養摂取を 促進するために、 栄養教育プログラムを 実施	ネスレ・ニュートリション・インスティテュートは、受胎から2歳の誕生日までの「初めの1000日」に焦点を当てて、医療の専門家のためのプログラムとサービスを推進しました。 ネスレでは、社員に栄養に関する研修を行っています。	独立した非営利組織で栄養情報を出版する世界最大の民間組織であるネスレ・ニュートリション・インスティテュート(NNI)を通じて、私たちは医療専門家に栄養教育を提供しています。 同組織は200カ国近くで活動しており、その教育ウェブサイトには21万人を超える医療専門家が会員登録をしています。	医療専門家の継続的な栄養教育と介入プログラムを実施し、低栄養および栄養過多の課題に対応

⁶ 消費者の20%以上かつ50%未満が18歳未満の製品



農業・地域開発と責任ある調達

責務	対策	進捗状況	目標
「農業・地域開発の 枠組み」 ⁷ の実施		「農業・地域開発の枠組み」では2012年12月	2015年までの目標 -著しい社会的ニーズを 示しているネスレの事業に重要な21カ国で
「 <i>ネスレ カカオプラン</i> 」 の実施	えるようにすることで、ネスレ のカカオのために持続可能な	2013年、私たちは「ネスレ カカオプラン」を通じて62,299トンのカカオを購入し、8つの協同組合で児童労働のモニタリングと改善の申し入れを実施、13の学校を建築または修繕し、33,885名のカカオ農業従事者に研修を実施しました(2012年の同データは46,000トン、2つの協同組合、13の学校、27,000名の農業従事者)。	2014年までの目標-「ネスレ カカオプラン」を通じて8万トンのカカオを調達 12の協同組合で児童労働モニタリングと改善申し入れを実施、10の学校を建築、2万5千人のカカオ栽培者に研修を実施、農業従事者に1万本以上の苗木を配布 2015年までの目標-「ネスレ カカオプラン」を通じて10万トンのカカオを調達、4年間で40の学校を建設する学校建設プログラムの完了 2016年までの目標-「ネスレ カカオプラン」を通じて12万トンのカカオを調達
「 <i>ネスカフェ</i> プラン」 の実施	持続可能な消費、生産および製造に注力コーヒーコミュニティの共通規約(4C)の会員資格レインフォレスト・アライアンスとの提携	「ネスカフェ プラン」を導入し、ファーマー・	2015年までの目標-ファーマー・コネクト8から18万トンのコーヒーを調達、4C(コーヒーコミュニティの共通規約)9を基本とするサステナビリティ基準を100%順守 2020年までの目標-9万トン10の「ネスレ持続可能な農業イニシアチブ」11準拠コーヒーの調達と2億2,000万本のコーヒー苗木の配布

- ために、「農業・地域開発に関する方針」に基づいた枠組み が作られており、これは農家の成功、農場労働者の人権の 尊重、コミュニティの繁栄、連携・協力そして支援という4つ の柱で構成されています。
- 現地調達を行いつつ、厳格な調達基準を満たすために技術 的支援を提供し、協力体制を整えています。
- 7 これらの農業・地域開発に関するすべての活動を統括する 8 農家から直接調達するプログラムにより、私たちは原料の 9 コーヒーコミュニティの共通規約(4C)アソシエーションは さまざまなステークホルダーによって構成されており、会員 はコーヒーのサプライチェーンに関与する生産者、市民団 体や企業など、コーヒー産業に携わる人々です。



農業・地域開発と責任ある調達

責務	対策	進捗状況	目標
責任ある調達の実践	「ネスレサプライヤー規約」 「ネスレの責任ある調達と トレーサビリティプログラム」 第三者との提携		2015年までの目標-12の主要な原料の40% (量ベース)を追跡可能にする(パーム油、大豆、砂糖、紙、コーヒー、カカオ、乳製品、シーフード、シアバター、バニラ、ヘーゼルナッツ、畜肉、家禽



責務	対策	進捗状況	目標
事業全体における水の利用効率の向上に向けた取り組み	「ネスレのウォーター・ スチュワードシップへの 取り組み」		2015年までの目標-全製品分野で製品1トン当たりの直接取水量を2005年と比較して全体で40%削減 2015年までの目標-水資源と衛生に関して人権への適切な配慮のための詳細なガイドラインの設置と実践 2016年までの目標-ウォーター・スチュワードシップの取り組みの定義と、5つの重点地域で導入開始 2016年までの目標-優先順位の高い製造施設で節水プロジェクトを100%実施 2016年までの目標-新たに選定した45件の製造施設および新規開拓地域におけるウォーター・リソース・レビュー(地域における水資源の枯渇可能性の調査)を実施。

- 10 数字は2010~2020年までの累積です。
- 11 持続可能な農業における主要な環境保全団体による国際 的な協会で、環境保護、社会的責任、経済的活力に関する基 準があります。



水資源

責務	対策	進捗状況	目標
効果的な水資源利用方針 とウォーター・スチュワード シップの推進	「ネスレのウォーター・ スチュワードシップへの 取り組み」	ウォーター・スチュワードシップへの取り組み」を発行しました。 注目される水資源の方針と施策の実施に おいて継続して強い存在感を示し、新しい	2014年までの目標―2030ウォーター・リソース・グループを官民のパートナーシップを通じて他国に拡張 2014年までの目標―CEOウォーターマンデートー般開示ガイドラインの発行に貢献し、「水と衛生への人権」に関する企業のグッドプラクティスを導入 2014年までの目標―ISO14046のウォーター・フットプリント・原則、条件、ガイドラインの完成に貢献 2014年までの目標―持続可能な開発のための世界経済人会議(WBCSD)の水・公衆衛生に関する自己評価ツールをネスレの全製造施設で広く導入開始 2014年までの目標―特定の重点施設では、アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップの原則を自己評価の目安として使用
適切な排水処理	「ネスレのウォーター・ スチュワードシップへの 取り組み」 「ネスレ環境条件」		2016年までの目標-全工場で水質と排水に関する新しい「ネスレ環境最小要求事項」を施行
サプライヤー、特に農業関連との協力	「ネスレのウォーター・ スチュワードシップへの 取り組み」		2015年までの目標 -優先地域におけるコーヒー、砂糖、米や穀物のサプライチェーン上流における節水行動計画を策定し、導入



水資源

責務	対策	進捗状況	目標
水の供給と保全に対する意識改善	「ネスレのウォーター・スチュワードシップへの取り組み」職場で安全な水・公衆衛生を確保するための「持続可能な開発のための世界経済人会議の宣言」(WASH宣言)		2015年までの目標-ネスレの全社員が職場で適切な水準の安全な水・衛生施設を利用可能 2016年までの目標-ネスレの製造施設近隣およびファーマー・コネクトの地域において、農村部における35万人が水・公衆衛生改善プロジェクトの恩恵を享受



環境サステナビリティ

責務	対策	進捗状況	目標
資源の利用効率の向上	「ネスレの持続可能な環境方針」 「ネスレ環境 マネジメントシステム」	2013年には、ネスレの61工場(12%)が廃棄物量ゼロを達成しました(2012年は39工場、8%)。つまり、2012年に私たちが設定した目標を、2年早く達成できたことになります。また、製品1トン当たりの全体のエネルギー消費量を2005年と比較して23%削減しました(2012年は21%)。	2015年までの目標-ネスレ工場の10%で廃棄物量ゼロを達成 2015年までの目標-各製品分野において製品1トン当たりのエネルギー消費量を2005年と比較して25%削減
ネスレ製品 パッケージの環境 パフォーマンスを 改善	「ネスレの持続可能な環境方針」 「ネスレ環境 マネジメントシステム」 「包材環境負荷測定簡易ツール」(PIQET)	滅。これは1億5,850万スイスフランに相 当します(2012年は47,125トン)。また、 5,200件のプロジェクトと15,500件のシナ	パッケージの環境パフォーマンスを改善するツールPIQETから、バリューチェーン全体を網羅するより広範な包括的アプローチであるEcodEX(エコデックス:持続可能な製品開発と発売のためのエコデザイン)へ移行し、パッケージのエコデザインをさらに進化させます。



環境サステナビリティ

責務	対策	進捗状況	目標
製品が環境に与える影響の評価と最適化	「ネスレの持続可能な環境方針」 「設計プログラムによるサステナビリティ」 「設計ネットワークによるサステナビリティ」 バリューチェーン全体を網羅する新しいエコデザインのツールエコデックス 「ライフサイクルアセスメント」(LCA)	2013年には、12製品分野においてサステナビリティの重点課題を特定して対応し(2012年は8分野)、エコデックスエコデザインツールをすべての製品テクノロジーセンターで導入しました(2012年は4拠点)。全新製品に対して環境サステナビリティ評価を実施しています。	2014年までの目標-12製品分野におけるサステナビリティ重点課題を特定し、対応2014年までの目標-エコデックスのエコデザインツールを全研究開発拠点に適用
環境変化における リーダーシップの発揮	「ネスレの持続可能な環境方針」 「気候変動に対する ネスレの方針」	製品1トン当たりのGHG排出量を2005年と比較して35.4%削減し、絶対量は7.4%削減できました(2012年は生産量の31%増加に対し、GHG排出量を2005年と比較して14%削減)。つまり、2012年に私たちが設定した目標を、2年早く達成できたことになります。 世界の温暖化とオゾン破壊をもたらす可能性の高い産業用冷媒の93%を廃止し(2012年は92%)、アイスクリーム用の新大型冷凍庫18,000台には自然冷媒が使用されています。	2014年までの目標-私たちの業務用冷却システムで、自然冷媒の利用を拡大 2014年までの目標-ヨーロッパでは新規のアイスクリーム用大型冷蔵庫はすべて、自然冷媒を使用 2015年までの目標-製品1トン当たりの直接温室効果ガス(GHG)排出量を2005年と比較して35%削減し、GHG排出量の絶対量を削減
森林を含む自然資本 の保全	「ネスレの持続可能な環境方針」 「設計プログラムによるサステナビリティ」 「設計ネットワークによるサステナビリティ」 バリューチェーン全体を網羅する新しいエコデザインのツールEcodEX 「ライフサイクルアセスメント」(LCA)		2015年までの目標-12の主要な原料の量の30%を責任ある調達ガイドライン(RSG)に照らして評価。既に準拠しているか、そうでない部分については改善計画を実施中という結果を得ること。 2015年までの目標-水資源の重点地域13近隣のすべての工場で、改善プログラムを導入。
有意義で正確な 環境情報の提供と対話	「ネスレの持続可能な環境方針」	適切な接点(デジタル、パッケージ、店頭)を利用して、消費者に環境面の改善や課題を伝え、2013年は事実に基づいた環境情報を109カ国で消費者に開示されました。	2016年までの目標 -事実に基づく環境情報をすべての国で消費者に開示

¹³ 法的に保護されているか、保全契約が結ばれている貯水池があり、それが損なわれたり、失われたりした場合には、その貯水池がもたらす環境的・社会的・文化的・経済的利益が大幅、もしくは過度に悪影響を受けると思われる水資源がある地域。



✓ 人材、人権とコンプライアンス

責務	対策	進捗状況	目標
事業運営と サプライチェーンに おける人権への影響の 評価と対応	「ネスレの経営に関する 諸原則」 「国連グローバル・コンパクトの原則」 デンマーク人権研究所 (DIHR)との提携	2013年は、FTSE4Good(フィッチフォーグッド)該当の9カ国でさらに6,650名の社員に人権に関する研修を実施しました。2011年に人権に関するオンライン研修を導入してから、64カ国で37,768名の社員が研修を受けました。ネスレは多国籍企業として初めて、人権への影響評価に関する公的な報告書を発行しました。	2015年までの目標-FTSE4Good(フィッチフォーグッド)14の該当国で、ネスレが大きく関与し、重視する国15すべてをカバーし、社員に研修を実施 2015年までの目標-「ネスレ責任ある調達のガイドライン」で指定する12の全原料において人権を尊重
重点原料 (カカオ、ヘーゼルナッツ、 バニラ)における 児童労働の排除	公正労働協会の会員となる	リスクが高い原料と国に焦点を当て、活動	2015年までの目標-ココア、ヘーゼルナッツ、バニラの行動計画を完了して児童労働に関する研修を6万人の農業従事者に行い、60の学校を建築または修繕し、児童労働モニタリングと改善要請の仕組みを80%の協同組合で導入(2016年までに100%)
責任ある母乳代替品の販売	各国政府が施行する 各国およびWHOコードの順守 独立した第三者による ネスレの方針や実践の 確認・保証	私たちは、母乳代替品(BMS)の販売に厳格な基準を持つ世界で唯一の指数であるFTSE4Good(フィッチフォーグッド)責任投資株価指数に登録されています。2013年には、私たちの活動は31カ国で内部監査員の監査を受け、3カ国ではビューロー・ベリタスの監査を受けました。これらの助言により、透明性と企業統治の仕組みを改善し、コンプライアンス体制を強化しました。	母乳育児の推進に継続的に取り組んでおり、母乳代替品の責任ある販売についての進捗を一般に公表しています。 2014年までの目標-新規に取得したワイス乳児用調製粉乳事業がFTSE4Good(フィッチフォーグッド) 指標の基準をクリア
ネスレの全部門に おいて、全社員に 同水準の基本的安全性 および健康の確保に 必要な仕組みを整備	工場、研究開発センター、 流通、営業、事務所を含め、 ネスレの全部門において 安全と健康管理システムが OHSAS18001の認証を 取得	2013年、442の工場、130の流通センター、25の研究開発拠点の安全と健康管理システムが、OHSAS18001の認証を受けました(2012年は418の工場、130の流通センター、24の研究開発拠点)。	2016年までの目標 すべての事務職および 営業担当に安全と健康管理システムを保証

- 所の株式市場における社会的責任投資の指標です。世界 か、関連会社に1,000名以上の社員がいるか、1億イギリス的に認められた企業責任の基準を満たす企業について、 ポンド以上の売上高もしくは資産がある国です。 そのパフォーマンスを客観的に測定するものです。
- 14 FTSE4Good (フィッチフォーグッド)は、ロンドン証券取引 15 重視する国とは、当社が20%以上の株式を持つ現地子会社



✓ 人材、人権とコンプライアンス

責務	対策	進捗状況	目標
男女比のバランスを改善	「ネスレ マネジメント及び リーダーシップの基本原則」 「ネスレの経営に関する諸 原則」	署名しており、男女の管理職への昇進率は同程度となるようにしています。2013年	2018年までの目標-毎年、女性管理職および幹部(各国の経営陣および本社における重要な役職)の割合を高められるよう、私たちの勤務環境で条件を整備し、男女比のバランスのとれた企業になる
ヨーロッパのネスレで 30歳未満の 若年層2万人に 雇用機会を提供	直接採用を促進 全ヨーロッパ市場で研修生、 実習生を増員		2016年までの目標-ネスレはヨーロッパで 1万人の若年層および1万人の30歳未満の 研修者もしくは実習生を雇用
「共通価値の創造」 (CSV)、NQ(栄養指数)、 環境サステナビリティに 関する研修と教育を 社員に実施	「ネスレの持続可能な環境方針」 「共通価値の創造」を研修開発プログラムに導入 NQトレーニング プログラム	関する研修と教育の講習は79カ国で開催 されました(2012年は52カ国)。2007年	

¹⁶ ネスレのNQ(栄養指数)トレーニング プログラムは、ネスレ の社員が最新の科学的証拠に基づき、個人としても、仕事 においても栄養に関する優れた判断が行えるように支援し ます。

グローバル報告部分に関して

© March 2014, Nestlé S.A., Public Affairs

Nestlé S.A. Avenue Nestlé 55 CH-1800 Vevey Switzerland www.nestle.com/csv

解釈に疑問または相違が生じた場合、英語版が優先します。

写真

Nana Kofi Acquah, Jorge Brandtmayer, Patrick Brown/Panos Pictures, Alfredo Caliz/Panos Pictures, Zackary Canepari/Panos Pictures, Sam Faulkner/NB Pictures, Shiho Fukada/Panos Pictures, Peter Ginter, Harmen Hoogland, Ivan Kashinsky/Panos Pictures, Gilles Leimdorfer/Interlinks Image, Piotr Malecki/Panos Pictures, Karen Robinson, Paul Smith/Panos Pictures, Martin Toole, Sven Torfinn/Panos Pictures, Mike Turner

本報告書全体に関して

イタリック体で表記されたブランドはネスレグループの登録商標です。